

広色域4K 3波テレビ HDD録画対応
PVR裏録/ARC/LAN/HDMI/USB対応
ダブルチューナー搭載
43型／50型／55型

液晶テレビ

取扱説明書

4K

ULTRA HD
3840 X 2160 Pixels

広色域



本書で使われている画面などのイラストはイメージであり、実際の表示と異なる場合があります。意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。

目次

ご使用の前に 5

安全上のご注意.....	5
故障や異常	5
取り付け	5
使用	7
クリーニング.....	9
お手入れ.....	10
クリーニング時の注意	10
画面およびテレビ台のクリーニング	10
使用上の注意	11
取り扱い	11
録画	11
譲渡および廃棄.....	11
免責条項	11
ソフトウェアのアップデート.....	11
4Kデジタル放送を本機で視聴するには	11
付属品	12
各部のなまえ	13
前面	13
背面	13
入出力端子	14
本体ボタンについて	14
リモコン	15

準備をする..... 16

スタンドを取り付ける	16
miniB-CAS カードを挿入する	17
挿入のしかた.....	17
miniB-CAS カードのテスト	17
取り出ししかた.....	17
テレビを設置する.....	18
正しい置きかた.....	18
転倒・落下防止のしかた	18
壁かけでのご使用.....	18
アンテナを接続する.....	19
一戸建て住宅（個別アンテナによる受信）	19

集合住宅（共用アンテナによる受信）	19
録画機器を経由する場合	19
外部機器を接続する.....	20
映像機器接続例.....	20
音声機器接続例.....	21
USB ハードディスク接続例	21
インターネット接続例	21
リモコンの準備をする	22
乾電池を入れる.....	22
リモコンの有効範囲	22
電源を入れる	23
『かんたん設定』	24
「かんたん設定」について	24
「かんたん設定」の手順	24
「かんたん設定」の再設定	24

テレビを楽しむ 25

リモコンの基本操作.....	25
リモコンで「テレビ」を選ぶ.....	25
リモコンで「外部入力」を選ぶ.....	25
リモコンで番組を選ぶ	26
音量を調節する／音声を切り換える／字幕を表示させる	27
操作ガイドについて	28
番組情報を見る.....	29
番組情報を見る.....	29
番組説明を見る.....	29
番組表で番組を探す	30
番組表を使う.....	30
ジャンルを選んで番組を探す	31
データ放送やラジオ放送を楽しむ.....	33
データ放送について	33
ラジオ放送について	33
便利な機能を使う	34
字幕の設定をする	34
放送の種類を設定する	34

オンタイマーを使う	34
オフタイマーを使う	34
無操作オフを使う	35
無信号オフを使う	35
高速起動を使う	35
時計表示を使う	35
映像信号を切り換える	35
文字を入力する.....	36
画面キーボード方式.....	36
リモコンボタン方式.....	37
文字の入力方式を切り換える.....	38
変換方式を切り換える	38

録画・予約機能39

録画・予約機能について	39
録画できる機器と番組	39
USB ハードディスクを本機に登録する.....	39
録画モードと録画可能時間について	40
録画基本設定	41
録画ボタンの設定.....	41
自動予約設定.....	41
オートチャプターの設定	41
USB ハードディスク の設定.....	41
録画と予約	42
現在視聴中の番組を録画	42
番組表を使って録画予約する.....	43
録画リストの表示.....	45
予約リストを表示します	46
優先予約	47
予約操作	47
リモコンを使用して録画した番組を再生します	48
まとめ番組を再生.....	48
選択されたチャプターを再生.....	48
再生画面について	49

ピクチャプレイヤー50

ピクチャプレイヤーの使いかた.....	50
写真を見る	50
サポートされているファイル形式.....	51

映像・音声の設定52

お好みの映像設定.....	52
画質動作選択.....	52
バックライト.....	52
コントラスト.....	52
黒レベル調整.....	52
色の濃淡	52
色あい(チント).....	52
輪郭強調(シャープネス)	52
色温度	52
動的コントラスト.....	53
ノイズ低減	53
MPEG ノイズ低減	53
高度な設定	53
シネマ設定	53
画面の設定	53
調整の初期化.....	53
お好みの音声設定.....	54
音声調整	54
低音	54
高音	54
イコライザー.....	54
バランス	54
サラウンド	54
ヘッドホーンの音量調整	54
音量自動調整.....	55
入力音量補正.....	55
デジタル音声出力.....	55
HDMI 音声入力	55
音声同時出力.....	55
調整の初期化.....	55

目次 つづき

各種機能の設定56

ネットワークの設定.....	56
IP アドレスと DNS の設定.....	56
プロキシサーバー設定.....	56
ネットワーク接続テスト.....	56
アンテナの設定.....	57
地上波アンテナの設定.....	57
衛星 BS・110 度 CS アンテナの設定.....	57
初期スキャンと再スキャンの実行.....	58
初期スキャンの実行.....	58
再スキャンの実行.....	58
リモコンボタンへのチャンネル割当て.....	59
地上波デジタルチャンネルを設定.....	59
衛星デジタルチャンネルを設定.....	59
データ放送の設定.....	60
都道府県と郵便番号の設定.....	60
ルート証明書の表示.....	60
視聴年齢制限.....	61
暗証番号の変更.....	61
暗証番号の削除.....	61
外部入力機器を設定.....	62
機器名の設定.....	62
外部入力をスキップ.....	62
HDMI 音声入力の設定.....	62
HDMI モードの設定.....	62
デジタル音声出力の設定.....	62
HDMI リンク機能.....	63
HDMI 連動を有効にする.....	63
電源入連動を設定する.....	63
ソース機器からワンタッチプレイ操作する場合のご注意.....	63
電源切連動を設定する.....	63
自動切を設定する.....	63
レコーダ操作を設定する.....	63
CEC 機器の操作.....	64
設定を初期化する.....	65
設定メニュー一覧.....	66

困ったときは67

以下の場合は故障ではありません.....	67
問題と対処法.....	67
本機が動作を停止した場合、本機をリセットします.....	67
操作関連の問題.....	67
映像関連の問題.....	68
音声関連の問題.....	68
地上波デジタル放送.....	69
BS・110 度 CS デジタル放送.....	69
番組表関連の問題.....	69
録画および再生.....	70
エラーメッセージ.....	71
一般的なエラーメッセージ.....	71
miniB-CAS カード関連エラーメッセージ.....	71
USB ハードディスク関連エラーメッセージ.....	72
ネットワーク関連エラーメッセージ.....	72

その他の情報73

ソフトウェアを更新する.....	73
いろいろな情報を見る.....	74
放送メールを見る.....	74
miniB-CAS カードの情報を見る.....	74
CS ボードを見る.....	74
ソフトウェア情報を見る.....	74
テレビ ID を見る.....	74
USB ハードディスクの情報を見る.....	74
Simple English Guide.....	75
本機で対応する HDMI 入力信号フォーマット.....	77
製品仕様.....	78

安全上のご注意

- お使いになる前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。
- 内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告

不適切に取り扱った場合、重大なケガや死亡を引き起こす可能性があります。

注意

不適切に取り扱った場合、ケガや資産への損傷の原因になることがあります。



⊘ は禁止事項を示しています。
上の記号はぬれた手で取り扱いを禁止していることを示しています。



● は必ず行わなくてはならない必要な操作を示しています。
上の記号はプラグを抜く操作が必要なことを示しています。

故障や異常

警告

- 焼ける匂いや煙の匂いに気づいたら、すぐに電源プラグを抜く。



電源プラグ
を抜く

本機をそのまま使用し続けると火災や感電の原因となる可能性があります。

本機が煙を発しなくなったことを確かめてから、お近くの販売店に問い合わせてください。

- 音が出なくなったり、画面が表示されなくなったりしたら、すぐに電源プラグを抜く。



電源プラグ
を抜く

本機をそのまま使用し続けると火災の原因となる可能性があります。

お近くの販売店に問い合わせ、修理を依頼してください。ご自分で本機を開けないでください。

- 本機に異物や液体が入った場合、すぐに電源プラグを抜く。



電源プラグ
を抜く

本機をそのまま使用し続けると火災や感電の原因となる可能性があります。

お近くの販売店に問い合わせ、修理を依頼してください。ご自分で本機を開けないでください。

- 本機に衝撃が加わったり、転倒したりしてテレビ台を破損した場合、すぐに本機の電源プラグを抜く。



電源プラグ
を抜く

本機をそのまま使用し続けると火災や感電の原因となる可能性があります。

お近くの販売店に問い合わせ、修理を依頼してください。ご自分で本機を開けないでください。

- 電源コードまたは電源コンセント / プラグが損傷している場合、すぐに本機の電源プラグを抜きます。



電源プラグ
を抜く

本機をそのまま使用し続けると火災や感電の原因となる可能性があります。

お近くの販売店に問い合わせ、交換を依頼してください。

取り付け

警告

- コンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する。



指示を守る

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

安全上のご注意 つづき

- 本機を風呂やシャワールームなどの極端に湿度が高い場所で使用しないでください。



風呂、シャワー
室での使用禁止

火災や感電の原因となる可能性があります。

- 不安定な面に本機を置かないでください（例：可動式の棚、テレビ台の端）。



禁止

本機が転倒した場合、ケガをする可能性があります。
スタンドの取り付けの詳細については、16 ページを参照してください。

- 100 ボルト以外の交流電圧を使用しないでください。



禁止

発熱により感電や火災の原因となります。

- 付属の電源コードを本機以外の機器に使用しないでください。



指示を守る

火災や感電の原因となる可能性があります。

- 花瓶などの物、ペットや重い物体を本機の上方に置かないでください。



禁止

花瓶からの液体、ペットの尿や毛が本機内部に入ると、火災や感電の原因となります。

重い物体が転倒した場合、ケガの原因となります。

- minB-CAS カードを子どもの手に届かない所においてください。



禁止

誤って飲み込んだ場合、ケガや窒息の危険があります。誤って飲み込んだ場合、すぐにお近くの医師へ相談してください。

カードを付属の miniB-CAS カード台紙から取り外したら、できるだけ早くカードをスロットに挿入してください。

- 転倒を防ぐため、安全対策を行います。



指示を守る

本機が十分に安定した場所に置かれていない場合、転倒の原因となる場合があります。

転倒防止対策の詳細については、18 ページを参照してください。

- 本機を壁に取り付ける場合、必ず販売店に問い合わせて専門家による取り付けを依頼してください。



指示を守る

本機が適切に取り付けられていない場合ケガの原因となります。

⚠ 注意

- 極端に高温の場所に本機を設置しないでください。



禁止

本機が直射日光にさらされたり、その他の熱源の近い所に設置されている場合、火災の原因となります。

テレビ台が変形、損傷している場合、感電の原因となります。

- 本機背面または側面の通気口を塞がないでください。



禁止

本機周辺に 10cm 超の空間を取り、適切な通気ができるようにしてください。

新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどの物体で通気口が塞がれて通気が妨げられないようにしてください。

- 湿度、ほこり、油、煙が多い場所に本機を設置しないでください。



禁止

本機が加湿器や調理台の近くに設置されている場合、火災や感電の原因となります。

■ 本機を移動、運搬させる場合



指示を守る

- 本機をダンボール箱から取り出したり、運搬するには2人必要です。

1人で取り扱う場合、ケガや本機への損傷の原因となります。

- 必ず本機ケーブル類をつまづく危険がない場所へ設置してください。

ケーブルにつまずいたり、ケーブルが損傷した場合、火災や感電の原因となり、また転倒により本機への損傷の原因となります。

- キャスターが付いているテレビ台ごと本機を移動させる場合、キャスターのロックを外して本機をしっかりと支えてください。

上記を行わない場合、転倒により本機への損傷の原因となります。

- 床面の凹凸や本機への衝突を避けるため、慎重に本機を移動させてください。

上記を行わない場合、本機への損傷の原因となります。

- キャスター付きのテレビ台に本機を設置している場合、ホイールをロックしてください。



指示を守る

上記を行わない場合、転倒により本機への損傷の原因となります。

テレビ台が柔らかいカーペットや畳の上に設置されている場合、キャスターを取り外してください。キャスターを取り外さない場合、揺れ、傾き、転倒の原因となります。

使用



警告

- 絶対にご自分で本機を開けないでください。



分解禁止

内部に高電圧部品があり、火災や感電の原因となります。

保証修理については、お近くの販売店にお問い合わせください。

■ 電源コードと信号ケーブル



禁止

- 電源コードや信号ケーブルの上に物を置いたり、巻いたりしないでください。

- 電源コードや信号ケーブルが踏みつけられないように保護してください。

- 電源コードや電源コンセントに過度な負荷をかけないでください。

- 電源コードや信号ケーブルに水分をつけないでください。

- 火災や感電の原因となる可能性があります。

- テレビのスロットへ物を押し込まないでください。



異物挿入禁止

部品が破損したり、ショートを起こしたりする場合があります。火災、感電、本機の損傷の原因となります。

- 落雷時には、電源コード、アンテナケーブル、本機に接続されているケーブル類に触れないでください。



接触禁止

感電の原因となります。

- 子どもに包装用ビニール袋で遊ばせないでください。

安全上のご注意 つづき



指示を守る

鼻や口に密着し、呼吸を妨げる原因となります。

誤って飲み込んだ場合、すぐにお近くの医師へ相談してください。

注意

■ テレビ台、スタンドを使用する場合



禁止

- 不安定なテレビ台を使用しないでください。
- 本機重量を安全に支えることができるテレビ台のみ使用してください。

- 本機がテレビ台の端から突き出た状態になっていないことを確認してください。

- 本機とテレビ台の間に布や物を置かないでください。

テレビ台が転倒および損傷した場合、ケガの原因となります。

■ 電源コンセントや配線器具の定格出力を超えて使用しないでください。



禁止

延長コードを使用して、1つの電源コンセントに多くの電源コードを接続しないでください。

火災や感電の原因となる可能性があります。

■ 電源プラグを取り外すとき、電源コードを引っ張って取り外さないでください。



引っ張り禁止

電源コードの損傷により、火災や感電の原因となります。

電源プラグ自体をつかんで、取り外してください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

■ 本機を踏みつけたり、ぶら下がったりしないでください。



禁止

転倒により、重大なケガや本機への損傷の原因となります。

■ 本機で長時間視聴しない場合、電源コンセントから電源コードを取り外して完全に電源をオフにします。



電源プラグを抜く

予想外の故障により、火災の原因となります。

リモコンまたは本機の電源ボタンを押して画面をオフにした場合、本機への電源供給は完全に切られていません。本機の電源を完全に落とすには、電源プラグを取り外す必要があります。

■ 必要な場合、音量を落とした状態でヘッドホーンを接続してから音量を上げます。



禁止

大きい音量で長時間ヘッドホーンを使用すると、聴覚障害の原因となります。

■ リモコン用電池



禁止

- 指定された種類の電池のみ使用してください。

- 正しい向きに電池をセットしてください。

- 新しい電池と使用済みの電池を併用しないでください。

- 充電式電池を使用しないでください。

- 電池を日光、火気などの過度の熱にさらしたり、火の中に投げ入れたり、電池を充電したり、開けたりしないでください。

- 長時間使用しない場合、電池をリモコンから取り外してください。

不適切に取り扱った場合、電池が液漏れや破裂しケガの原因となります。

電池が液漏れし、肌、目、口に触れた場合、きれいな水で完全にすすいであら、すぐに医師に相談してください。

液体が服に触れた場合、すぐにきれいな水ですすいでください。

液体が器具類、家具または床に付着した場合、液体に直接触れずにふき取ってください。

- **本機画面へ強い圧力を加えないでください。**



禁止

本機画面への損傷の原因となります。

画面が損傷し、液体が漏れている場合、液体に触れないでください。

液体が肌、目、口に触れた場合、きれいな水で完全にすすいであら、すぐに医師に相談してください。

液体が服に触れた場合、すぐにきれいな水ですすいでください。

液体が器具類、家具または床に付着した場合、液体に直接触れずにふき取ってください。

- **化学薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤を本機周辺に置かないでください。**



禁止

本機のプラスチック部分に付着した場合、品質の劣化、または亀裂の原因となります。

化学薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤が本機に触れた場合、すぐにふき取ってください。

本機スタンドまたはテレビ台が損傷した場合、感電や転倒によるケガの原因となります。お近くの販売店に問い合わせ、修理を依頼してください。

クリーニング



警告

- **電源プラグの先端にほこりがたまった場合、ほこりを乾いた布でふき取ってください。**



指示を守る

電源プラグの絶縁が不良となり、火災の原因となります。



注意

- **本機をクリーニングするときは、電源プラグを抜きます。**



電源プラグを抜く

電源プラグを抜かない場合、感電の原因となります。

本機のクリーニング方法の詳細については、10 ページを参照してください。

- **お近くの販売店に相談して、最低1年に1度本機内部のクリーニングを行ってください。**



指示を守る

長い間清掃しないと、ほこりが内部に溜まり、火災や故障の原因となります。

湿度が高くなる時期の前にクリーニングを行うと、特に効果的です。内部クリーニングの費用については、お近くの販売店に相談してください。

お手入れ



注意

◆ クリーニング時には、電源コードを電源コンセントから抜きます。

- 電源コードを抜かない場合、感電の原因となります。



クリーニング時の注意

ベンゼンやアルコールなどの化学薬品を使用しないでください。

- ベンゼンやアルコールなどの揮発性溶剤の他に、アセトンやトルエンなどの溶媒キシレンを使用しないでください。テレビ台や画面（液晶パネル）が溶けたり、損傷したりする場合があります。
- クレンザーや研磨剤が入っている洗剤を使用しないでください。表面が損傷する場合があります。

ウェットタイプのクリーニング用布 / 紙や化学処理した布を使用しないでください。

- それらに含まれる化学成分により、テレビ台や画面が溶けたり損傷したりする場合があります。

直接水をかけたり、スプレー洗剤を吹きかけたりしないでください。

- 本機内部が水分により故障、火災、感電の原因となります。



ぬれた手でクリーニングしないでください。

- ぬれた布を洗って絞った場合、手から水滴を十分にふき取ってください。水滴が本機に浸入すると故障の原因となります。



乾いた、柔らかい布を使用し、やさしく画面をふきます。

- 画面の表面は樹脂製です。画面を固い布や紙でふいたり、画面を削ったりすると表面が損傷し映像品質が落ちる場合があります。やさしくふき取ってください。
- 画面内部はガラス製です。画面をたたいたり、押したり、力を加えると画面がひび割れることがあります。やさしく取り扱ってください。
- 小さい子どもが画面に触れないように注意し、画面がたたかれないようにしてください。

画面およびテレビ台のクリーニング

- 1 画面の表面やテレビ台に付着しているほこりを払ってください。

◆ 柔らかいモップでほこりを払います。

※ 付着しているほこりをふき取らないでください。こすると表面が傷つきます。

- 2 柔らかい乾いた布でやさしくふき取ります。

ほこりをふき取るのが難しい場合：

- ◆ およそ 1000 倍に水で薄めた中性洗剤につけた布でふき取ってから、柔らかい乾いた布でふき取ってください。



※ 水滴が手についている場合、本機に触れる前にふき取ってください。

※ 洗剤やほこりが画面に残っている場合、洗った後の余分な水分が絞られた柔らかい布でやさしくふいてください。

※ 画面をぬれたままにしないでください。ぬれたままにしておくと、水分の吸収により退色や劣化の原因となります。画面が湿っている場合、柔らかい乾いた布でやさしくふき取ってください。

使用上の注意

取り扱い

- 使用中に発熱する本機部品があることにご注意ください。
- 本機を長距離移動または運搬する場合、毛布などで本機を包装して損傷を防ぎ、必ず本機への衝撃や振動を避けてください。
- 本機へ殺虫剤や揮発性物質を使用しないでください。また、本機にゴムやビニールを長時間接触させないでください。劣化、退色、腐食の原因となります。
- 長時間使用していない電源コンセントには接続しないでください。電源プラグを接続すると、番組情報が入手できるようになります。
- キャッシュカード、磁気カード、ビデオテープを本機近くに置かないでください。本機からの電磁波により、これらのデータや録画内容が影響を受けることがあります。
- LCD 画面のドライバーから「ジー」というノイズが発生しますが、これは故障ではありません。
- 外部入力(ビデオ入力、HDMI 1 ～ 3)からの映像や音声にわずかな遅延が生じる場合があります。次の状況下で遅延により、不快に感じる可能性があります:
 - ◆ ゲーム機やカラオケを接続して楽しむ場合
 - ◆ オーディオ機器を外部機器のオーディオへ直接接続して使用している場合

録画

- 本機へ録画機器を接続する前に、前もって録画を試し正常に録画できることを確認してください。
- 本機へ接続された録画機器に録画されたものの長期保存は保証できかねます。録画機器は一時的な保存や再生用として使用してください。
- 著作権により全ての番組が保護されています。一部の番組では、コピーや録画が禁じられています。一部の番組では、一度のコピーのみ可能で追加のコピーが禁じられています。(本機では録画した番組の追加コピーができません。)
- 個人の商用以外の使用を除き、コンテンツ所有者またはサービスプロバイダーから認可されていない方法で録画番組を使用することは禁じられています。いかなる方法または媒体においては、録画した番組の修正、複製、アップロード、投稿、転送または販売は禁じられています。以下の行為は、著作権法総則で保護されている権利の侵害にあたることに注意してください。
 - ◆ 個人のホームページへの録画番組の投稿
 - ◆ メッセージサービスまたは電子メールによる、他人への録画番組の送信
 - ◆ 利益目的による多人数へのディスクまたはビデオテープの形態で録画された番組の貸与
- 著作権法違反は刑事罰に問われる可能性があります。著作権の侵害によるいかなる損害の責任を負うことになります。当社はその損害に対する一切の責任を明確に否認します。

譲渡および廃棄

- 譲渡や廃棄前に、お客様の個人情報を守るため、必ず全ての設定を出荷時設定へ復元してください。詳細については、63 ページを参照してください。
- 廃棄時には、家電リサイクル法を遵守してください。本機を廃棄するには、収集費、運送費、リサイクル費を自治体や販売店に支払う必要があります。

免責条項

- 地震、火災、その他災害、第三者による行為、ユーザーの故意または過失による操作、誤使用またはその他特殊な状況下での操作による損害について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機の使用または使用不能により発生する損害(事業利益の逸失、業務の混乱、番組アクセス手数料の逸失等)について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本マニュアルにある説明に従わずに発生する費用または損失について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 録画中に接続された機器の使用または使用不能により発生する損害(録画機の故障、録画した内容の変更または喪失)について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ノイズ、静電気、本機の誤使用により発生するデータの変更または喪失について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障または修理により発生するデータの喪失について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェアのアップデート

- 本機の最高のパフォーマンスを確保するには、最新のソフトウェアへアップデートする必要があります。詳細については、71 ページを参照してください。

4K デジタル放送を本機で視聴するには

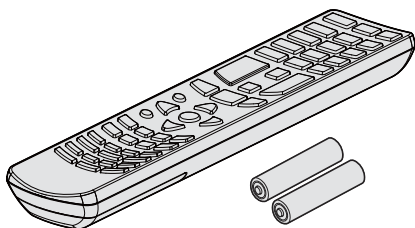
- 本機で2018年12月から開始予定の4K デジタル放送を受信するには、別売の4K 専用チューナー(市販品)および専用アンテナ工事が必要です。
- 外付け4K 専用チューナーを接続して視聴は可能ですが、録画は出来ません。

付属品

- 開始する前に、本機に以下の付属品が含まれているか確認してください。足りないものがあつた場合、ご購入店に問い合わせてください。
- 外部接続用の一部のケーブル類およびコード類は含まれていません。別途購入してください。

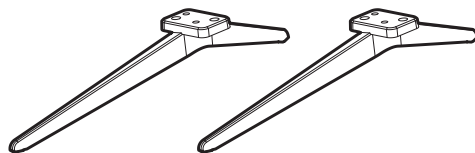
リモコン

- リモコン ×1
- 単四形乾電池 ×2



スタンド

- スタンド ×2



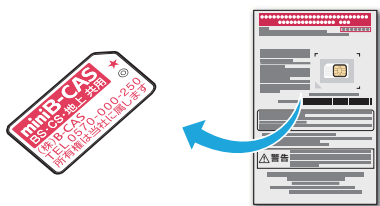
- ネジ (M5) (18mm) × 4 (43 型)
ネジ (M5) (20mm) × 4 (50 型、55 型)



miniB-CAS カード

- miniB-CAS カード ×1

台紙に張り付けられています



転倒落下防止用部品

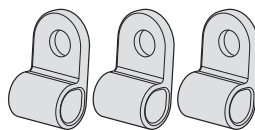
- VESA ネジ (M6) (12mm) × 2



- ネジ (ST4) (20mm) × 1



- クリップ × 3

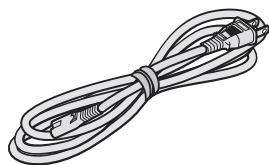


資料

- 取扱説明書 ×1
- かんたんガイド ×1
- 保証書 ×1

ケーブル

- 電源コード ×1



- AV 端子変換ピンジャック ×1

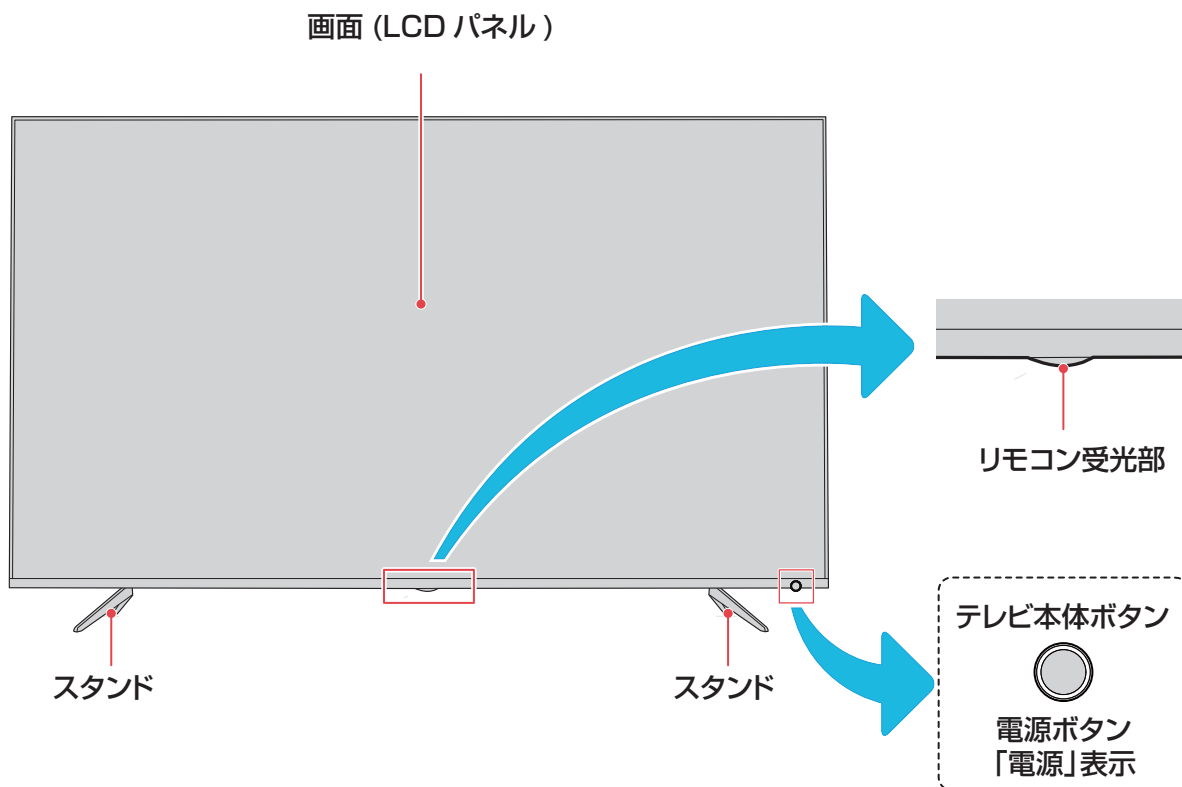
※ RCA ピン変換用



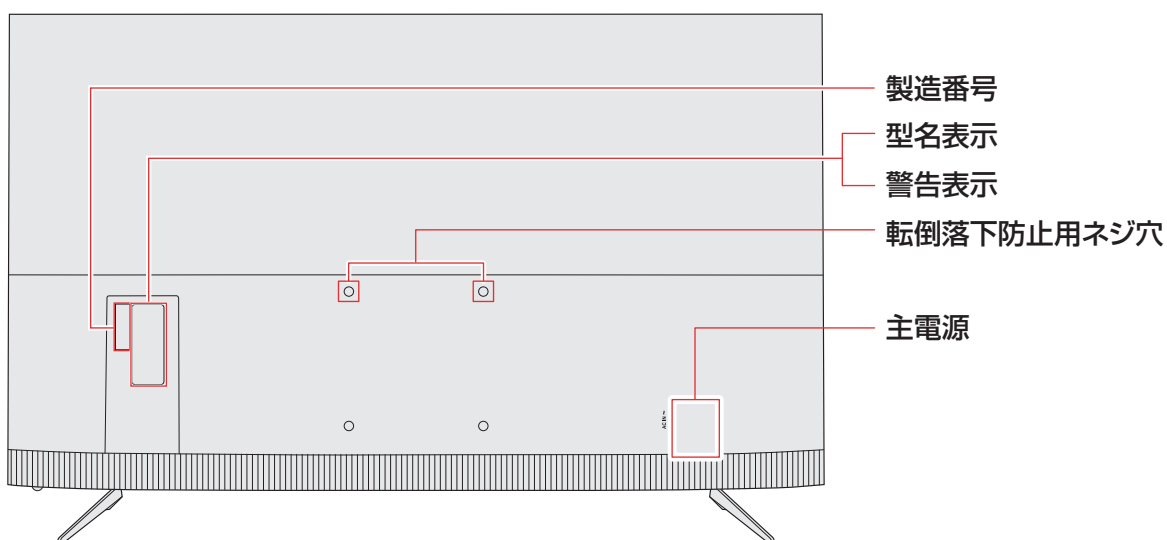
各部のなまえ

● イラストは実際の商品の外観とは異なる場合があります。

前面



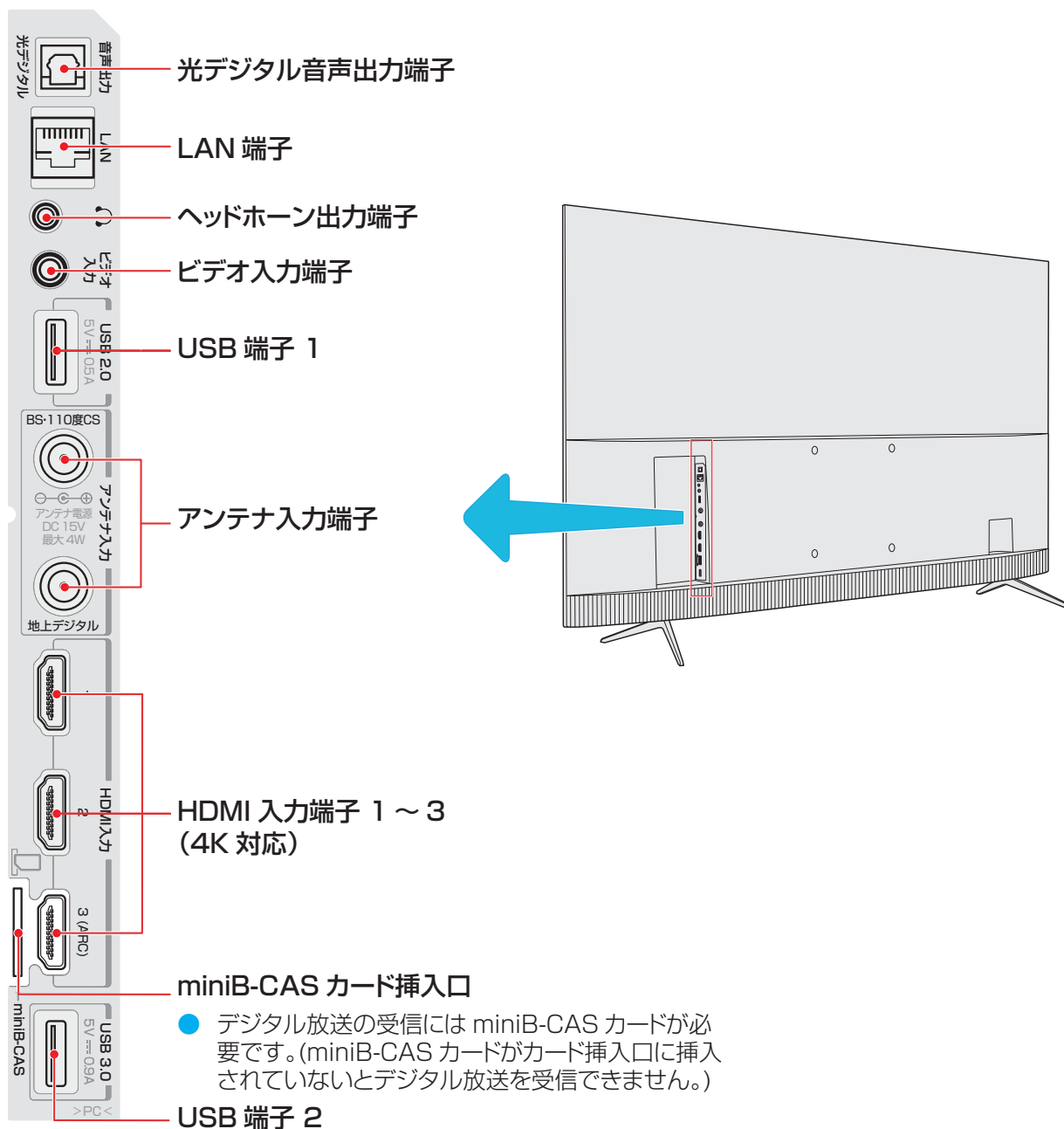
背面



各部のなまえ つづき

入出力端子

- 入出力端子イラストは 50 型 / 55 型です。43 型の場合、2 つの HDMI ポートと 1 つの USB ポートがあります。



リモコン

- リモコンは、テレビに付属の専用リモコンのみを使用してください。専用リモコン以外では、外観が類似していたとしても、このテレビにてご使用になれません。



チャンネル +/-
順次選局。



音量 +/-
本機の音量を調整する。



消音

本機の音を消す。
音量を戻すには再度このボタンを押します。



3桁入力

3桁のチャンネル番号を入力し、デジタルチャンネルを選択します。



データ

連動データ放送を見る。



メニュー

メニュー画面を表示 / 非表示します。



番組表

番組表を表示 / 非表示します。



予約リスト

予約リストを表示 / 非表示します。



録画リスト

録画リストを表示 / 非表示します。



タイマー

オフタイマーを設定します。ボタンを押すごとに「30分」、「60分」、「90分」、「オフ」が表示されます。

タイマーをオフにしたい場合は画面に「オフ」が表示されるまで「タイマー」ボタンを押してください。



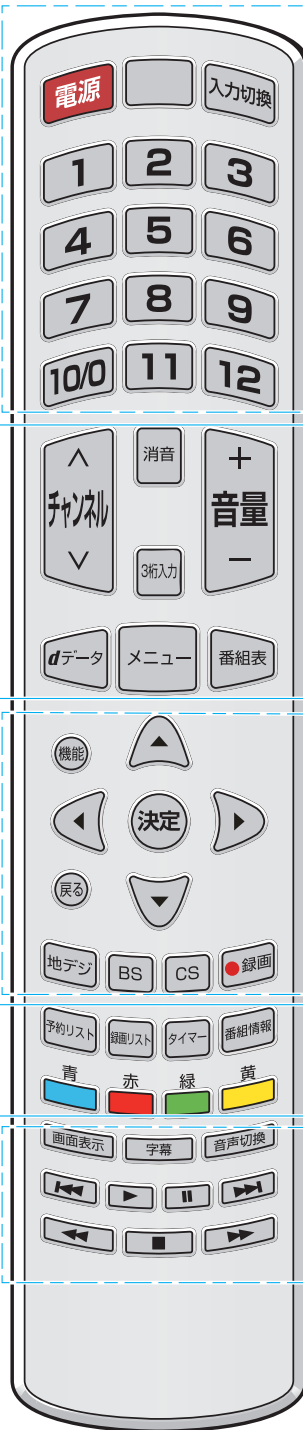
番組情報

現在視聴中の番組の情報を表示 / 非表示します。



カラーボタン

番組表を表示したときや、データ放送を取得したときに使用します。



電源

本機の電源のオン / オフします。



入力切替

機能なし。(未使用)



入力切替

外部入力機器 (HDMI、ビデオ入力) の画面に切り替える。



数字ボタン

チャンネルの選択や各種設定のための番号入力に使用します。



機能

サブメニューを表示 / 非表示します。



決定

メニューから選ぶ、決定するときを使用します。



戻る

メニュー操作でひとつ前の画面に戻ります。



方向ボタン

メニューや番組表で項目を選択するのに使用します。



地上デジタル / BS / CS

放送の種類を切り替えます。



録画

録画を実行します。



画面表示

番組名や放送局、放送時間を表示 / 非表示する。



字幕

字幕を表示 / 非表示します。



音声切替

音声を切り換えます。



ワンタッチスキップ

ひとつ前のチャプターから再開します。



再生

再生する、または録画リストを表示します。



一時停止

再生を一時停止させる、または映像を静止させる。



ワンタッチスキップ

次のチャプターから再開します。



早戻し

早戻し再生をする。



停止

映像を停止させる。



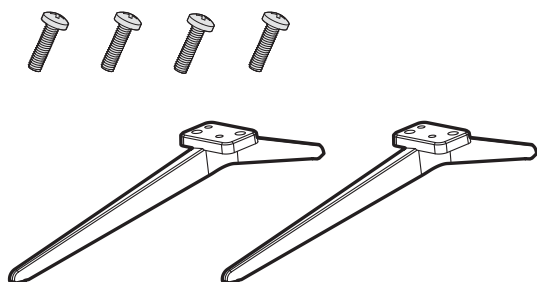
早送り

早送り再生をする。

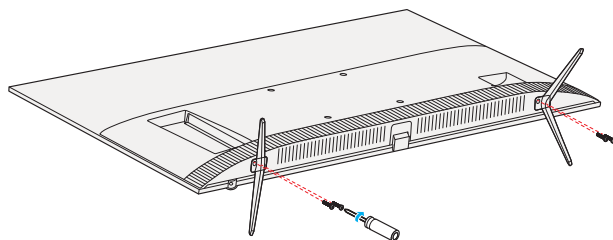
スタンドを取り付ける

- 指示に従って組み立てて下さい。
- イラストは実際の商品の外観とは異なる場合があります。
- 特に組立中の損傷を避けるため、ネジやプラスチック部品はグリースや有機溶剤から離して置いて下さい。
- 組立中に画面に傷がつかないように、画面の下に柔らかい布などを置くようにしてください。
- スクリーンを下にして倒すとき、画面に傷がつかないように、下に先の尖ったものを置かないでください。
- 壁に取り付けたい場合は、別途専用の金具を購入してください。取付詳細は各金具（市販）の取扱説明書に従ってください。

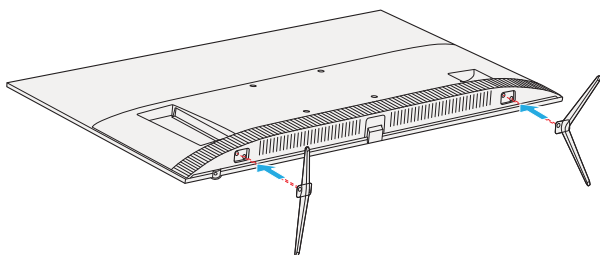
1 スタンド用組み立て部品を確認する。



3 テレビ本体にスタンドを固定するため、M5 ネジ4本を取り付ける。

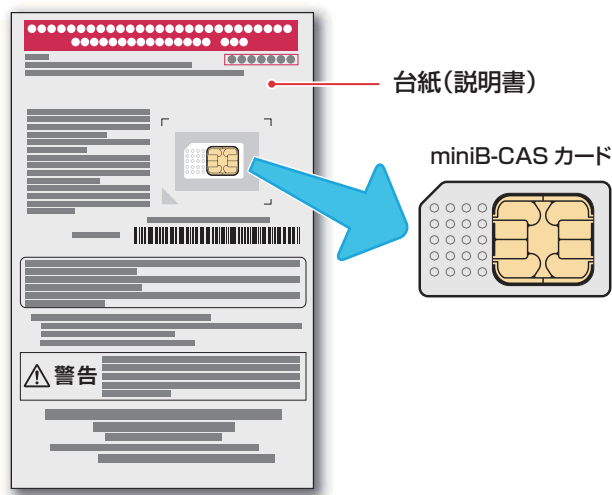


2 テレビ本体にスタンドを取り付ける。



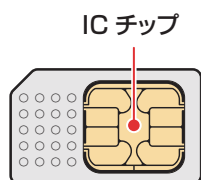
miniB-CAS カードを挿入する

- デジタル放送を受信するには、miniB-CAS(ミニビーキャス)カードが常時挿入されている必要があります。
- miniB-CAS カード台紙(説明書)の記載内容をご覧ください。今後参照出来る様に保管しておきます。

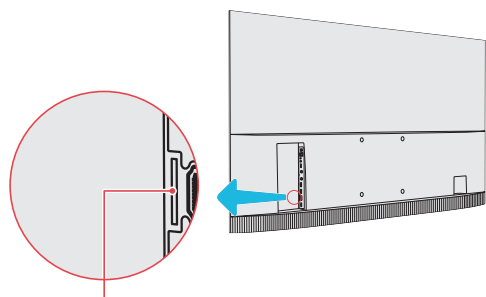


miniB-CAS カードの取り扱い

- miniB-CAS カードの挿入・排出時には、本機の電源をオフにし、電源コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- ICチップが汚れているとデジタル放送が受信できない場合があります。ICチップに触れないよう注意してください。



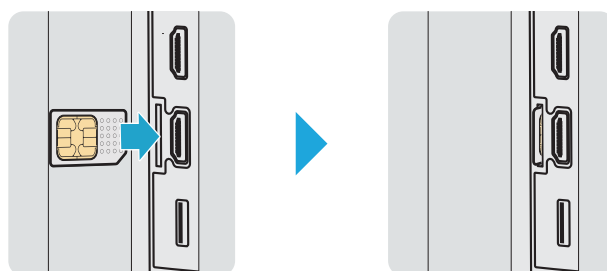
- 乾いた、清潔な手で取り扱ってください。
- ICチップが汚れている場合、清潔で柔らかい、乾いた布でクリーニングしてください。
- イラストは実際の商品の外観とは異なる場合があります。



miniB-CAS カード挿入口

挿入のしかた

- 1 miniB-CAS カードの台紙をよく読む。
- 2 miniB-CAS カードを台紙から剥がす。
- 3 miniB-CAS カードを挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。
 - ◆ miniB-CAS カードの金属端子面をテレビ背面に向けてるようにし、下記の図のように挿入してください。



miniB-CAS カードのテスト

- miniB-CAS カードを挿入後、3秒ほど待ってから次の操作を実行してください。

- 1 を押し、「機器設定」⇒「設置設定」を選び、 を押す。
- 2 「B-CAS テスト」を選択し、 を押す。

- ◆ 「NG」が表示された場合は、miniB-CAS カードが挿入されているか確認してください。

取り出しかた

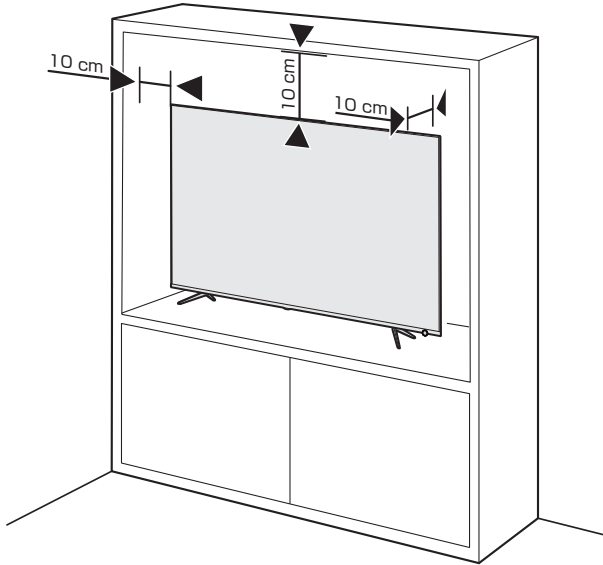
- 1 カチッと音がするまで押す。
 - ◆ miniB-CAS カードが少し出てきます。取り外す時は、ICチップに触れないよう注意してください。

テレビを設置する

正しい置きかた

- テレビを設置する前に、設置面がテレビの重さに耐えることができるか確認してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。また、テレビの前面が設置面から張り出さないようにしてください。
- 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に 10cm 以上の空間を設けてください。

※ この製品イラストは実物と異なる場合があります。

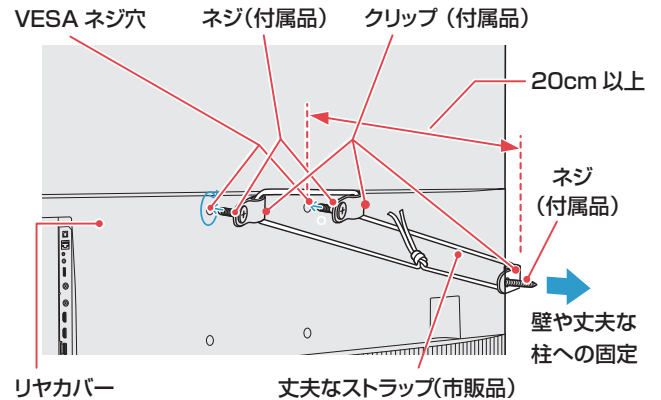


転倒・落下防止のしかた

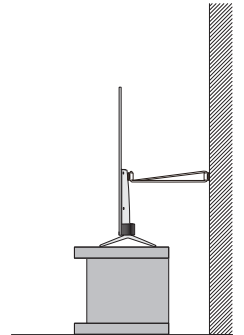
- 地震等による転倒によるケガを避けるため、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止装置が取り付けられるテーブルや壁の強度により、転倒・落下防止効果は著しく減少する場合があります。この場合、十分な補強を行います。
- 下記に説明されている転倒・落下防止策はケガを抑制する意図がありますが、全ての地震に対して効果が保証されているわけではありません。
- 転倒・落下防止のために、壁または柱などに固定してください。また背面からの転倒・落下防止のため壁の近くに設置してください。
- イラストは実際の商品の外観とは異なる場合があります。

壁または柱などに固定するとき

※ 壁または柱などにテレビを固定する場合は、市販のストラップやワイヤーを使用してください。

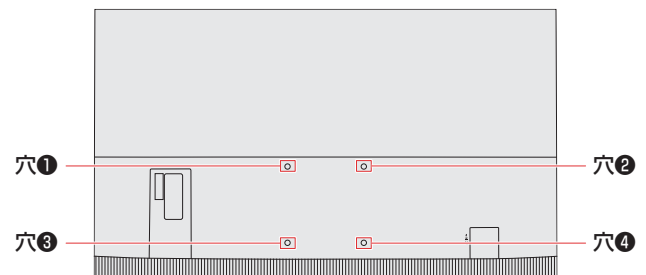


- ① 2 本 VESA ネジを 2 個クリップに通します。それから、背面カバー上部の VESA ネジ穴にネジを取り付けます。
- ② 壁ネジをクリップに通します。それから、壁に取り付けます。
- ③ 丈夫なストラップ（市販品）をテレビ背面のクリップ および壁のクリップに通します。
- ④ ストラップを固く結びます。



壁かけでご使用

- 本機は壁にかけて使用することができます。
- この商品は落下事故などの危険を防ぐため、取付方法には十分注意する必要があります。
- 十分な技術、技能を有する取付工事専門業者が施行を行ってください。
- ※ 壁掛け：取付寸法 200x200mm
壁掛け金具：別売市販
最寄りの家電量販店等にお問い合わせください。
- 本機背面の壁掛け穴のピッチに合わせて、本機を壁面に設置してください。
- 設置の際は本機を落下させないように注意してください。



※ イラストは実物と異なる場合があります。

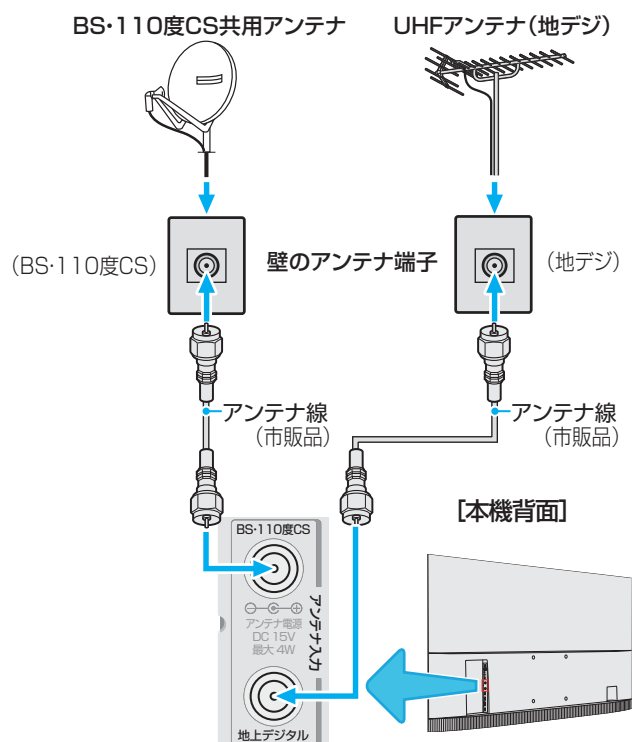
アンテナを接続する

- アンテナ接続時には、必ず本機の電源をオフにして、電源コンセントから電源プラグを抜きます。
- アンテナを接続する際は、スパナなどの工具を使用しないでください。



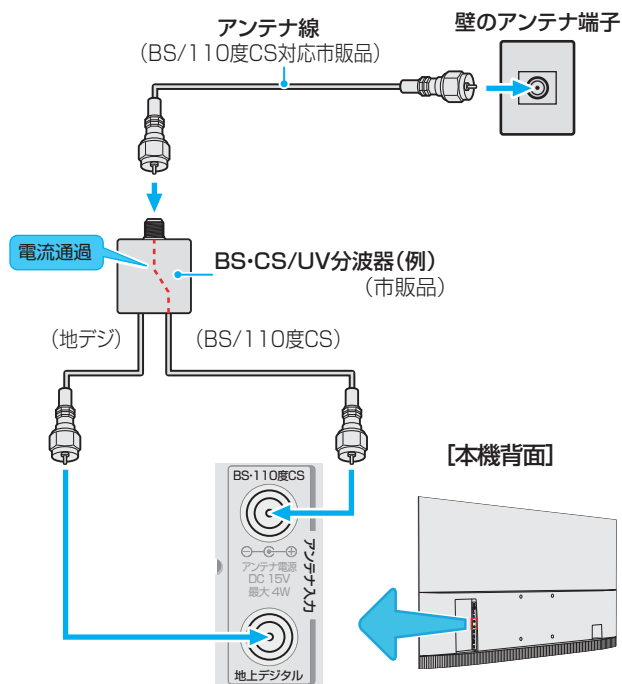
- 電波が減衰するため、アンテナ線はできるだけ短いものを使用してください。
- イラストは実際の商品の外観とは異なる場合があります。

一戸建て住宅（個別アンテナによる受信）



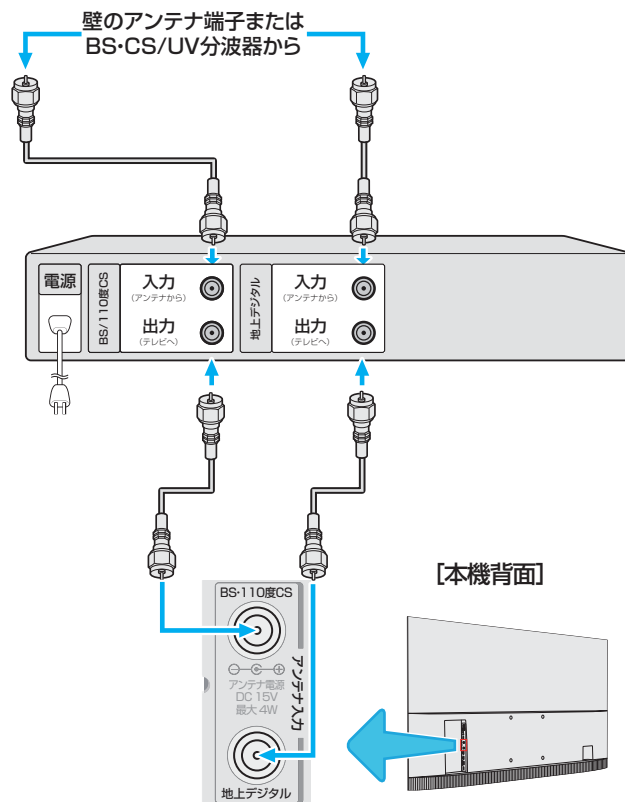
集合住宅（共用アンテナによる受信）

- BS・110度CSおよび地上デジタルで共用アンテナを使用する場合、DTVを受信できるようにするため一部工事が必要になることがあります。詳細については、大家の方またはアパート/マンションの管理組に事前の準備を依頼します。
 - BS・110度CS共用アンテナには電源が必要です。BS・110度CSアンテナ入力端子を通じて電源が供給されるようにBS・CS/UHFミキサーおよびデュプレクサーに電流が流れるようにする必要があります。
- ※ 本機からBS・110度CS共用アンテナへ電源を供給する必要はありません。



録画機器を経由する場合

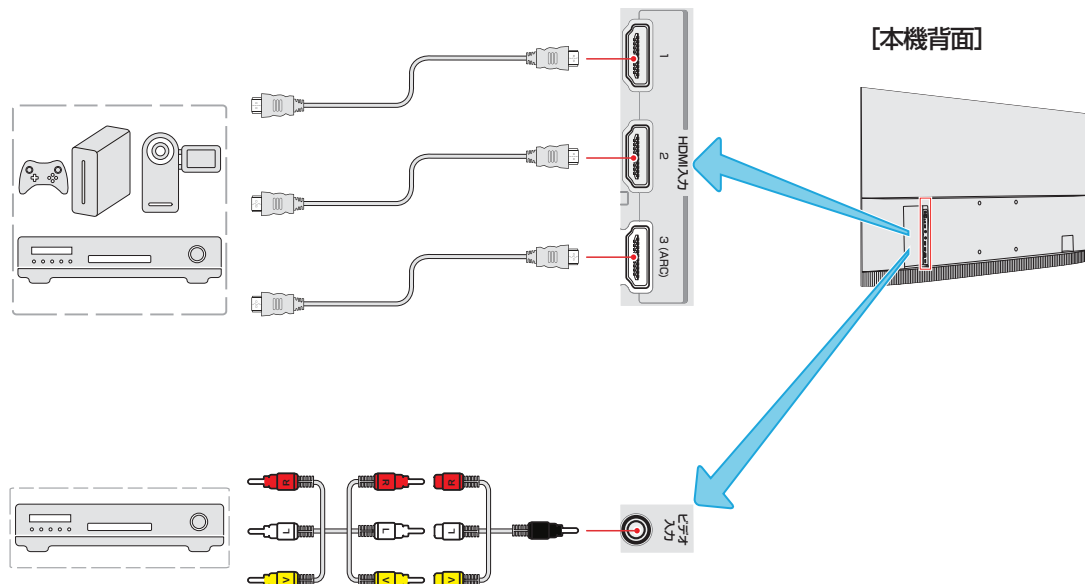
- 録画機器のアンテナ電源供給がオンに設定されていることを確かめてください。詳細については、録画機器の取扱説明書を参照します。



外部機器を接続する

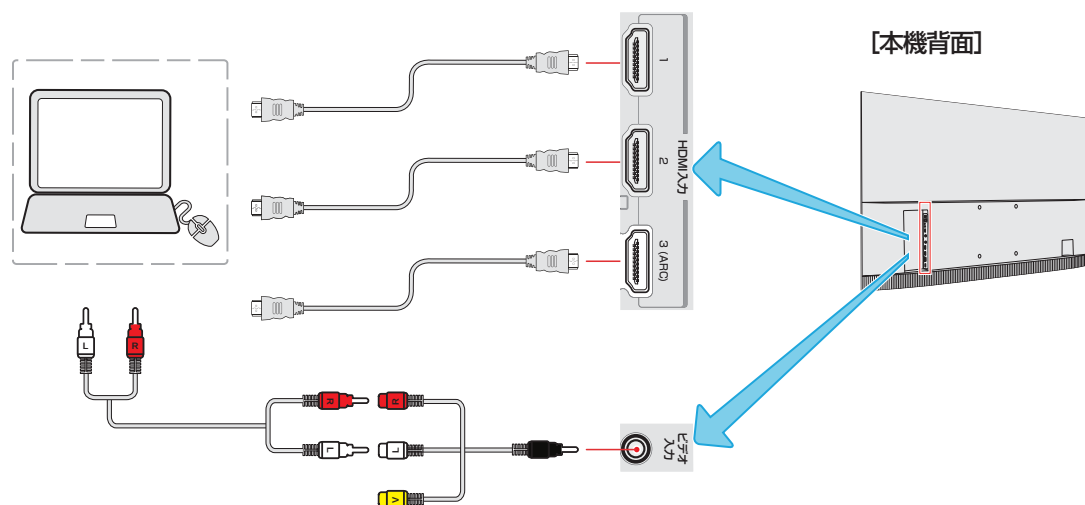
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 入出力端子イラストは 50 型 /55 型です。43 型の場合、2 つの HDMI ポートと 1 つの USB ポートがあります。

映像機器接続例

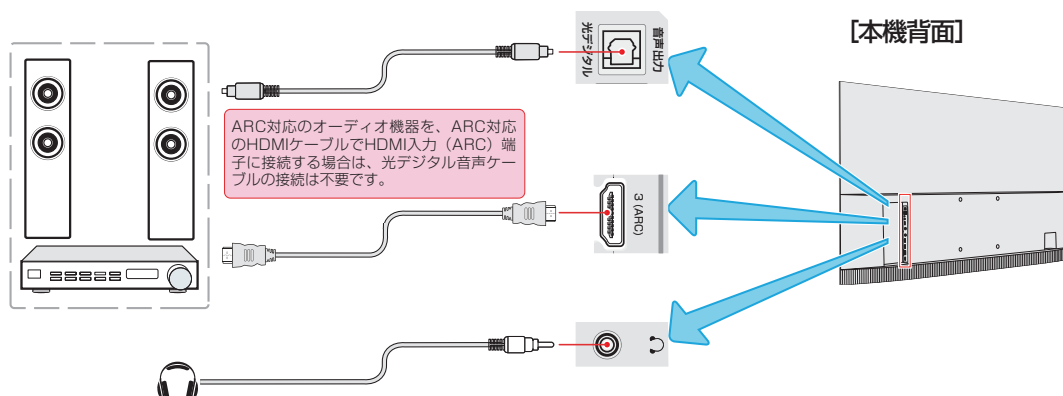


HDMI ケーブルだけで音声が出ない機器の場合

- HDMI ケーブルだけで音声が出ない機器の場合、本機から音声を出すには HDMI ケーブルを HDMI 入力に接続し、ビデオ入力の音声入力端子に音声用コードを接続します。
- 音声設定メニューの「HDMI 音声入力」を「アナログ」に設定します。（詳細については、60 ページの「HDMI 音声入力の設定」を参照してください）



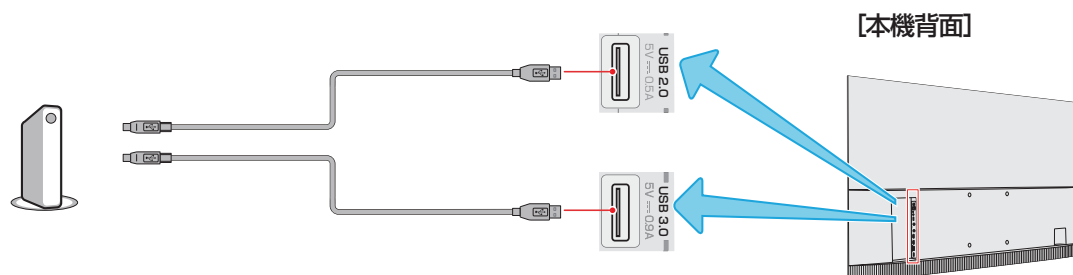
音声機器接続例



※ 50 型 /55 型の場合、ARC 機能は HDMI 入力 3 端子のみ対応しています。43 型の場合、ARC 機能は HDMI 入力 1 端子のみ対応しています。

USB ハードディスク接続例

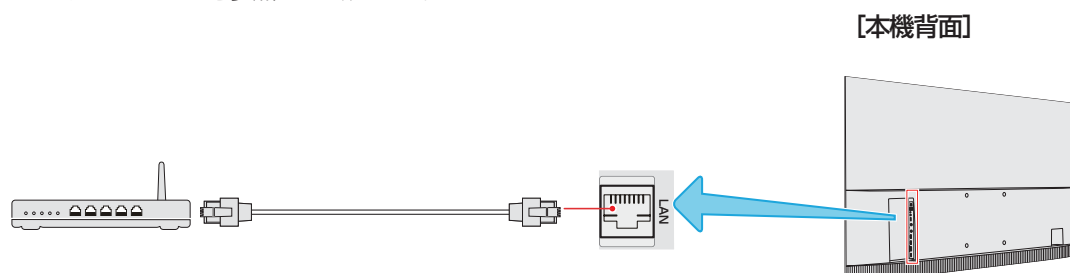
- USB ハードディスクを接続することで、テレビの録画予約と同じように、USB ハードディスクに放送番組を録画することができます。
- ※ 本機に USB ハードディスクを接続する前に、必ず USB ハードディスク内のデータのバックアップを行ってください。
- ※ USB ハードディスクの動作中は、USB ハードディスクを本機から取り外さないでください。録画した番組が消えたり、USB ハードディスクが故障したりする原因となります。
- USB ハードディスクを接続する場合は USB ケーブルを使用してください。



※ USB ハブを使用した接続はできません。

インターネット接続例

- インターネットに接続すると、データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買い物をしたりすることができます。
- インターネットを利用するために必要なもの
 - ◆ 十分な長さの LAN ケーブル
 - ◆ 利用可能なポートがあるルーター
 - ◆ 高速通信のできるルーター
 - ◆ テレビ背面の LAN 端子
- 詳細については、54 ページを参照してください。



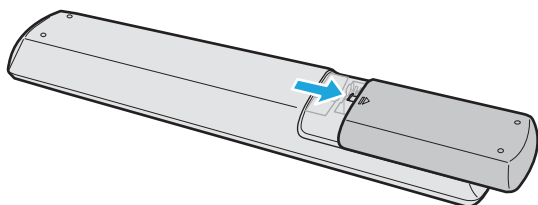
リモコンの準備をする

乾電池を入れる

- 単 4 形乾電池を使用してください。購入時に単 4 形乾電池 2 本が付属されています。

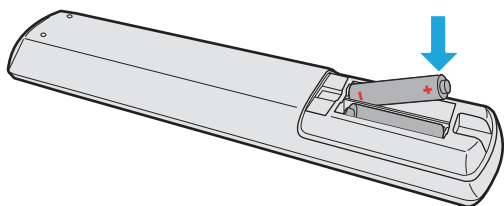
1 電池カバーを開けます。

- 軽く押し下げながら、指定の方向にスライドさせてください。



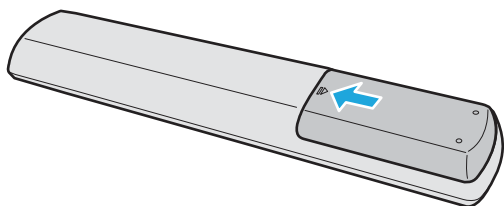
2 電池を正しい向きに挿入します。

- バッテリーの⊖極をバネ部分に取り付けてから下向きにしっかりと押し込みます。



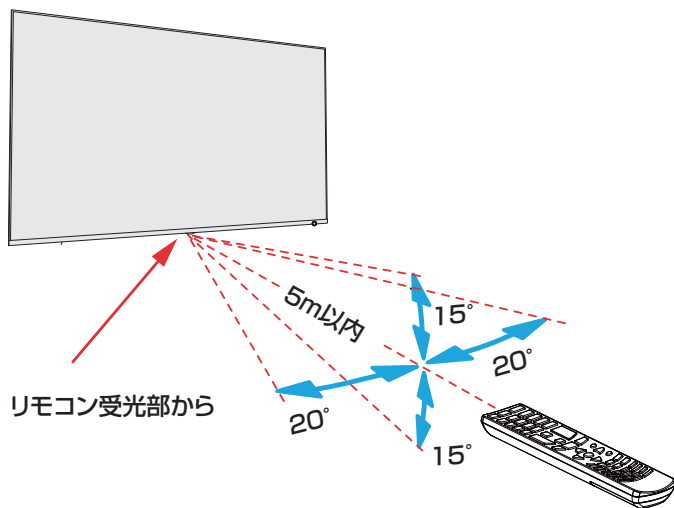
3 電池カバーを閉めます。

- 指定の方向に向かって、パチンと音がするまでカバーをスライドさせます。



リモコンの有効範囲

- リモコンセンサーに強い光を当てないでください。強い光を当てるとリモコンが動作しなくなる場合があります。
- リモコンとセンサーの間に障害物を置かないでください。障害物があるとリモコンが動作しなくなったり、リモコンのパフォーマンスが悪化したりします。



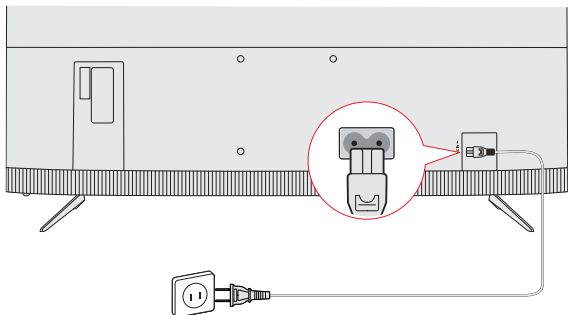
- リモコン受光部から
距離…5m 以内
角度…上下 15° 以内、左右 20° 以内

電源を入れる

- アンテナの接続が終わったら、本機の電源を入れます。

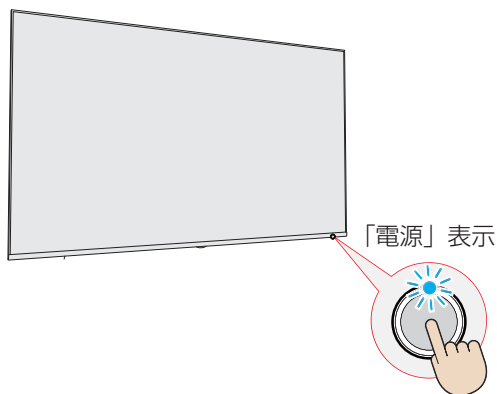
1 電源プラグを本体 AC-IN 端子、コンセントの順に差し込む。

- 本機は交流電源のみで使用いただけます。
- 電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込んでください。



2 本体の電源ボタンを押す。

- 電源がはいり、本体前面の「電源」表示が消灯します。
- もう一度本体の電源ボタンを押すと、電源が「切」になり、「電源」表示が青色に点灯します。



はじめて電源を入れたとき

- 「かんたん設定」の画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

リモコンで電源を入れたとき

- 電源「入」のときにリモコンの電源ボタンを押すと「待機」になり、「電源」表示が青色に点灯します。
- 「待機」のときにリモコンの電源ボタンを押すと電源がはいり、「電源」表示が消灯します。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- コンセントからプラグを抜く際は：
 - ① 録画が行われていないか確認してください。
 - ◆ USB ハードディスクに録画を行っている際に電源をプラグを抜いてしまうと、録画した番組が消えてしまうことがあります。
 - ② 録画予約が始まらないか確認してください。
 - ◆ 録画予約が始まった際に電源プラグを抜いてしまうと、予約した番組が録画されません。
 - ③ 本体の電源を消してください。
 - ◆ 「待機」の際も、本体はわずかですが電力を消費しています。
 - ④ コンセントからプラグを抜きます。
 - ◆ テレビの電気が完全に切れます。

『かんたん設定』



「かんたん設定」について

- アンテナを接続し、miniB-CAS カードが正しく挿入されていないと「かんたん設定」ができません。あらかじめご確認ください。
- 「かんたん設定」とは、本機でデジタル放送を視聴するために必ず行わなければならない基本的な設定です。
- はじめて電源を入れたとき、「かんたん設定」の画面が表示され、本機の初期設定の手順が指示されます。
- 画面が表示されたら、▲・▼・◀・▶で項目を選び、**決定**で決定して進んでいきます。設定する項目によっては、100～9 も使います。前の項目に戻るには **戻る** を押してください。

「かんたん設定」の手順

- 本機を使用できるようにするための基本的な設定をします。
- 県域および郵便番号設定の詳細については、58 ページを参照してください。初期スキャンの詳細については、56 ページを参照してください。

画質設定

本機の設置場所に合わせて、お好みの画質に設定します。通常はご家庭用を選択ください。



ネットワーク設定

本機のネットワーク機能を有効にするには、画面上の指示に従って設定します。（未接続時には設定をスキップ出来ます）



郵便番号

お住いの場所の郵便番号を入力します。



県域設定

お住いの地域を選びます。



miniB-CAS カードテスト

miniB-CAS カードのテストをします。



地上デジタルチャンネル設定

お住いの地域情報を設定することで、地上デジタル放送の受信チャンネルが自動設定されます。



衛星アンテナ設定

BS、110度CS 放送を受信する衛星アンテナの設定をします。



「かんたん設定」の終了

「かんたん設定」は終了です。

「かんたん設定」の再設定

- 県域および郵便番号を設定し直す場合は、**メニュー** を押し、「機器設定」⇒「設置設定」⇒「地域設定」の順に進みます。設定が終了したら **決定** を押す。もう一度「かんたん設定」をする場合は、**メニュー** を押し、「機器設定」⇒「かんたん設定」の順に進み、設定が終了したら **決定** を押す。

リモコンの基本操作



リモコンで「テレビ」を選ぶ

- 放送番組を視聴する場合は、以下のように操作します。

1 テレビの電源を入れます。

- ◆ 電源を入れる前に、アンテナが正しく接続されているか確認してください。

2 「テレビ」が選択されるまで、を押します。

- ◆ 外部入力は以下のように切り換わります。

→ テレビ → HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 → ビデオ

- ※ 43 型の場合、2 つの HDMI ポートがあります。

3 を押す。

4 リモコンを使ってチャンネルを選びます。

- ◆ 選局のしかたは、26 ページを参照してください。

リモコンで「外部入力」を選ぶ

- DVD、ブルーレイプレーヤーおよびゲーム機などの外部機器を使う場合は、以下のように操作します。

1 外部機器をテレビに接続し、テレビおよび外部機器の電源を入れます。

- ◆ 外部機器の接続については、20 ページを参照してください。

2 正しい入力モードになるまで、を繰り返し押します。

- ◆ 外部入力は以下のように切り換わります。

→ テレビ → HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 → ビデオ

- ※ 43 型の場合、2 つの HDMI ポートがあります。

- ◆ 接続されている機器の表示名を変更することができます。また、入力切換をする際に、使っていない入力をスキップ（飛ばす）することができます。詳細については、60 ページを参照してください。

3 を押す。

4 外部機器を操作します。

- ◆ 外部機器のリモコンを使ってください。

リモコンの基本操作 つづき



リモコンで番組を選ぶ

1 、、で放送の種類を選ぶ。

2 チャンネルを選びます（選局する）。以下の3通りの選局方法があります。

- ワンタッチ選局ボタン ～で選局します。
 - ◆ 数字ボタンに自由にチャンネルを割り当てることができます。詳細については、57ページを参照してください。
- 3桁のチャンネル番号で選局する場合は、を押したあと、～で入力します。
 - ◆ 存在しない3桁の番号を入力した場合、チャンネルが選択されず、チャンネルが存在しないことが表示されます。
 - ◆ 同じ3桁の番号に複数のチャンネルが存在する場合、枝番号を入力する必要があります。最後に入力した数字を消すには、を押します。
- でチャンネルが順次に切り換えられます。

チャンネル切り換え時に表示されるタイトルを非表示にする

- チャンネルを切り換えた際に、タイトルを表示するかどうかを選択することができます。
- ① を押し、「機器設定」⇒「表示の設定」⇒「タイトル表示」の順に選択し、を押す。
 - ② ▲・▼を押して、「オフ」を選び、設定が終了したら、を押す。

「選局対象」の設定

- 希望のチャンネルをリモコンの で選局できるように設定することができます。
- ① を押し、「機器設定」⇒「その他の設定」⇒「選局対象」の順に選択し、を押す。
 - ② ▲・▼を押して、選べる対象を選び、を押す。
 - ◆ 「設定チャンネル」：リモコンの数字ボタンにチャンネルを割り当てます
 - ◆ 「テレビのみ」：テレビ放送（ビデオ+オーディオ）のチャンネルのみ
 - ◆ 「全チャンネル」：放送されているすべてのチャンネル

音量を調節する／音声を切り換える／字幕を表示させる

音量を調節する

- ① を押します。

音を一時的に消す

- ① を押します。
- ◆ もう一度 を押すと音が出ます。

音声を切り換える

- ① を押します。
- ◆ 二重音声放送の場合、音声は以下のように切り換わります。

→ 主音声 → 副音声 → 主 + 副 →

- ◆ 二か国語放送の場合、音声は以下のように切り換わります。

→ 日本語 → 英語 →

- ◆ 音声切替が利用できるかは番組により異なります。
- ◆ 選択した音声はテレビを消すと、デフォルトの設定に戻ります。（二か国語放送の場合は「主」）
- ◆ 番組によっては、「主」で外国語、「副」で日本語を放送する場合や、「主」で本編の音声を、「副」でコメンテータリ（解説）を放送する場合があります。

字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換える

- ① を押します。ボタンを押すたびに、表示／非表示が切り換わります。

→ オフ → オン →

- ◆ 表示できる字幕の言語は、番組により異なります。

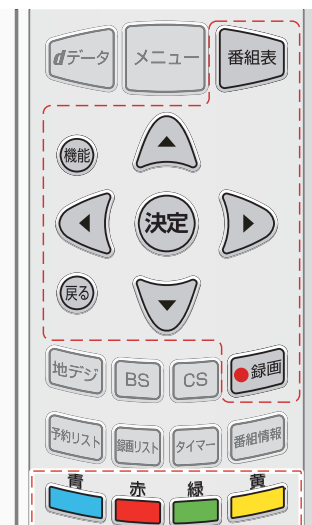
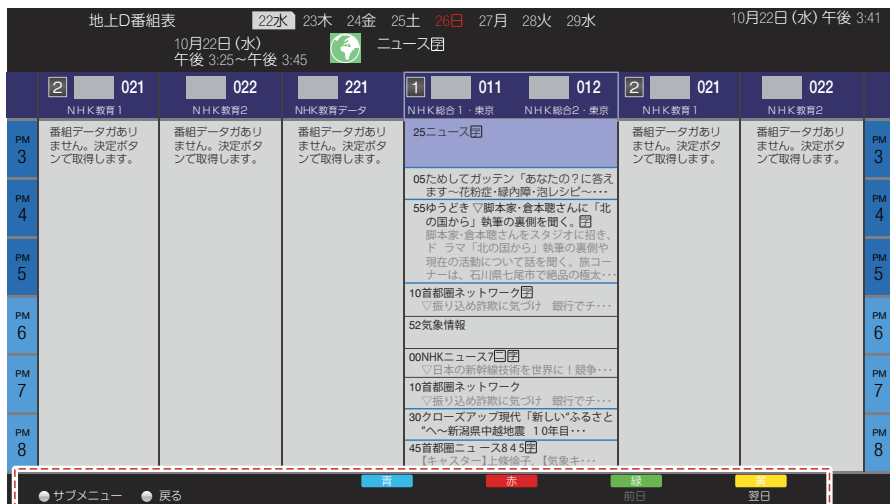


リモコンの基本操作 つづき

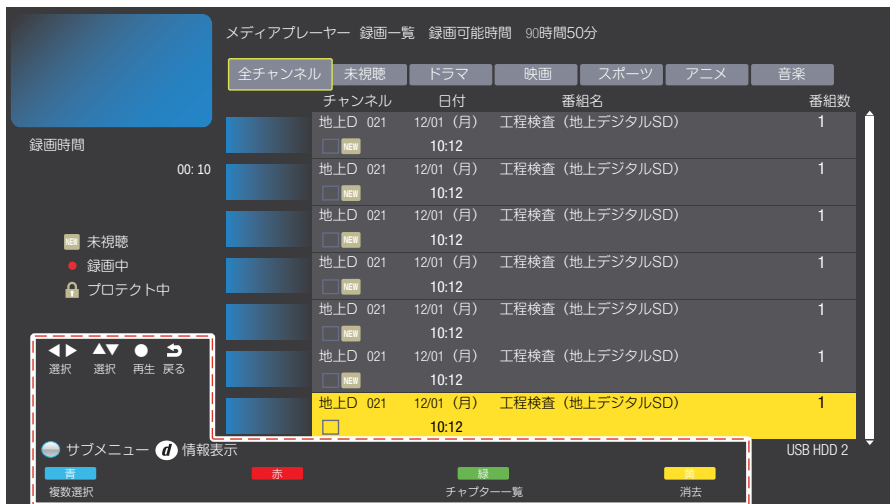
操作ガイドについて

- 番組表などのメニュー画面の下部には、そのときに使用できる（または使用する）リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタンに割り当てられています。

❖ 番組表



❖ 録画リスト



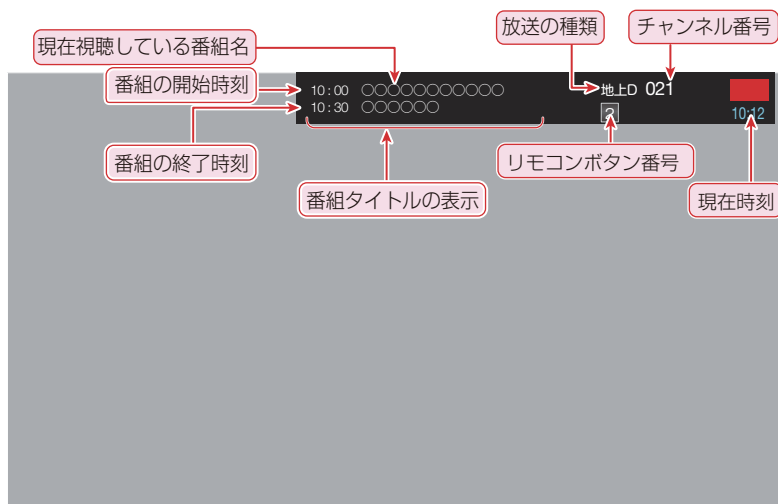
番組情報を見る

※ 以下の図やイラストは説明のためのものであり、実物と異なる場合があります。

番組情報を見る

1  を押します。

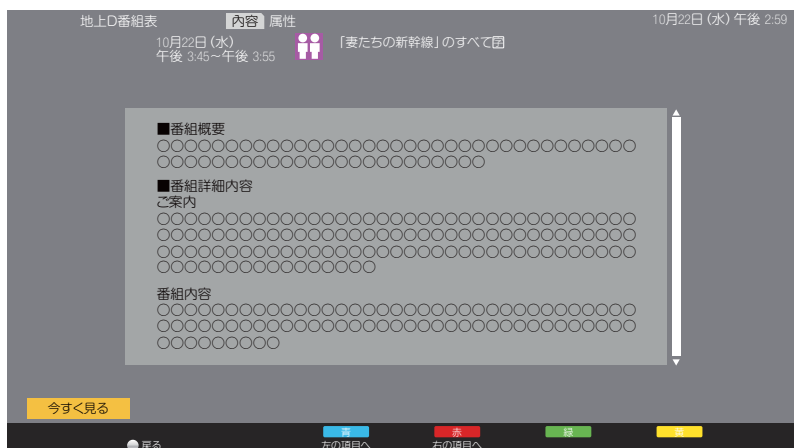
- ◆ 放送の種類は、「地デジ」「BS」「CS」です。
- ◆ 枝番のついた放送は、XXX-X と表示されます。
- ◆ 表示を消すには、 をもう一度押します。



番組説明を見る

1  を押します。

- ◆ 現在視聴している「番組内容」画面が表示されます。
- ◆ 表示を消すには、 をもう一度押します。



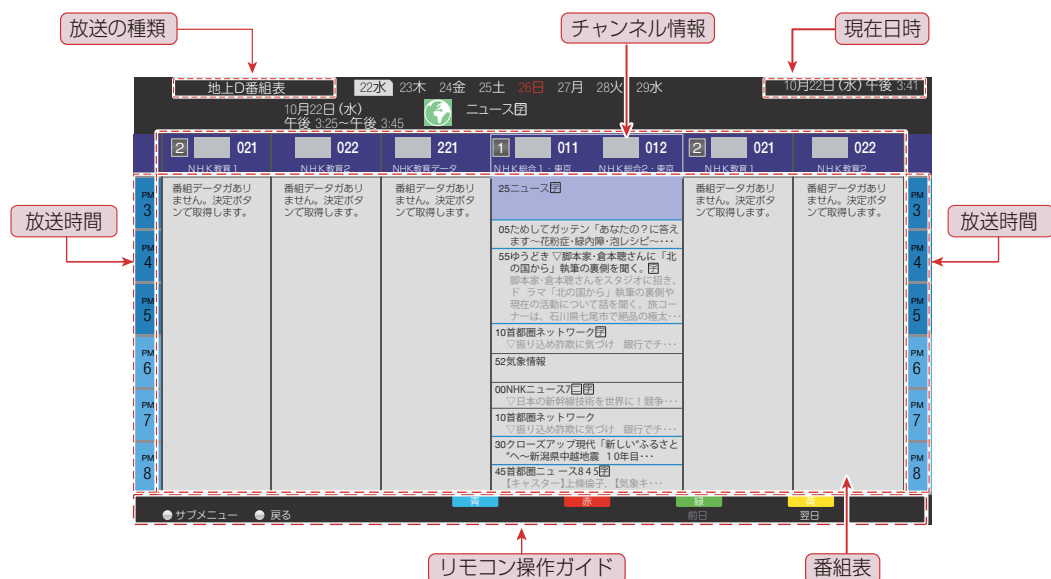
番組表で番組を探す

番組表を使う

- ◆ デジタル放送の番組表をテレビ画面で確認することができます。
- ◆ 地デジ、BS、CS デジタル放送の番組表を見ることができます。放送の種類を切り換える際は、番組表の取得に時間がかかります。
- ◆ 番組表はテレビの電源が入っているか、スタンバイ状態であれば自動的に取得されます。

1 番組表を押します。

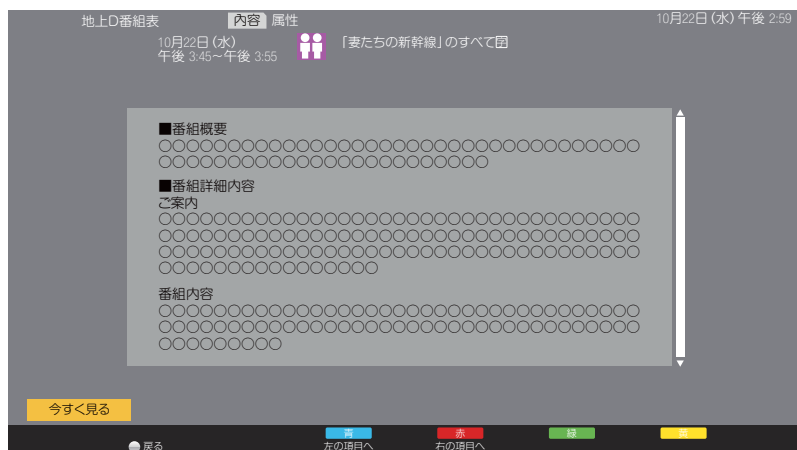
- ◆ 番組表が表示されます。



- ◆ 放送の種類を変えると、**地デジ**、**BS**、**CS** を押します。
- ◆ データ放送やラジオ放送の番組も番組表に表示されます。
- ◆ 番組リストは、当日から 8 日間分表示されます。前日の番組表を表示するには **緑** を押し、翌日の番組表を表示するには **黄** を押します。
- ◆ 表示を消すには、**番組表** をもう一度押します。

2 見たい番組を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す。

- ◆ 「番組内容」画面が表示されます。



- ◆ 現在放送中の番組なら、見ることができます。

- ◆ これから放送される番組は、視聴予約や録画予約ができます。
- ◆ 録画や予約については、40～47ページを参照してください。

番組表を更新する

- 番組表の中が空欄になっているときは、以下の操作をします。
 - ① 空欄になっている放送局を選び、**決定**を押す。
 - ◆ 情報の取得には数分かかることがあります。
 - ◆ 番組情報の取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
 - ※ 番組情報の取得中は映像、音声が出ない場合があります。
 - ※ 録画中は番組情報の取得ができません。

番組表に表示する表示内容を変更する

- ① 番組表を表示中に、**機能**を押します。
- ② ▲・▼で「表示内容」を選び、**決定**を押す。
- ③ ◀・▶で表示内容を選び、**決定**を押す。
 - ◆ 「設定チャンネル」：リモコンの数字ボタンに割り当てられているチャンネル
 - ◆ 「テレビのみ」：テレビ放送（ビデオ+オーディオ）のチャンネルのみ
 - ◆ 「全チャンネル」：放送されているすべてのチャンネル
- 番組と番組の間に表示されていない番組があるときは、青い線が表示されます。▲・▼・◀・▶で青い線を選び、**決定**を押すと、番組が一時的に表示されます。

ジャンルを選んで番組を探す

- 番組のジャンルを指定して、見たい番組を探すことができます。

1 番組表を表示中に、**機能**を押します。

2 「番組の検索」⇒「ジャンル検索」の順に進み、**決定**を押す。

- ◆ 「ジャンル検索」画面が表示されます。



3 ▲・▼でメインジャンルを選び、**決定**を押す。

4 メインジャンルを選んでからサブジャンルを ▲・▼ で選び、**決定**を押す。

- ◆ 番組は現在選択されている放送の種類から探され、検索結果画面が表示されます。

番組表で番組を探す つづき

ジャンル検索 すべて 22水 23木 24金 25土 26日 27月 28火 29水 10月22日(水) 午後 3:41

10月22日(水) 午後 3:25~午後 3:45 ニュース・気象情報団

サブジャンル 「ニュース／報道」の検索結果

地上D	011	15:00~15:12	ニュース・気象情報団
地上D	011	15:12~15:25	明日へ1 min. 花は咲く 東北に咲く ~どーもくとチャロ 東北に行く~
地上D	011	15:25~15:45	ニュース団
地上D	011	16:00~16:05	ニュース・気象情報団
地上D	011	16:05~18:00	ゆうどき ♪脚本家・倉本聰さんに「北の国から」執筆の裏側を聞く。団
地上D	011	18:00~18:10	ニュース団
地上D	011	18:10~18:52	首都圏ネットワーク団
地上D	011	18:52~19:00	気象情報団
地上D	011	19:00~19:30	NHKニュース7団

● サブメニュー ● 戻る

青 赤 緑 黄
昨日 翌日

5 番組を ▲・▼・◀・▶ で選び、決定を押す。

- ◆ 「番組内容」画面が表示されます。
- ◆ 前日の検索結果画面を表示するには  を、翌日の検索結果画面を表示するには  を押してください。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- 本機は、インターネットを利用した双方向サービスに対応しており、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません。

データ放送について

- 1 を押します。
 - ◆ データ放送が利用できる番組の場合、データ放送画面が表示されます。
 - ◆ 番組によっては押す必要がない場合があります。
 - ◆ 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作します。
- 2 ▲・▼・◀・▶ で表示したいデータ項目を選び、を押す。
- 3 データ放送を終了するには、をもう一度押します。

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を聴くことができます。
- 通常放送から特別に分離していないため、各チャンネルの選択方法によりラジオサービスが選択できます。

便利な機能を使う

字幕の設定をする

- 字幕が利用できる放送の場合、字幕を表示することができます。

1  を押し、「機器設定」⇒「表示の設定」⇒「字幕の設定」の順に進み、 を押す。



2 設定したい項目を ▲・▼ で選び、 を押す。

- ◆ 「字幕」：字幕を表示させるときは、「オン」を選びます。
- ◆ 「字幕言語」：字幕に表示する言語を選びます。
- ◆ 「文字スーパー」：文字スーパーを表示させるときは、「オン」を選びます。
- ◆ 「文字スーパー言語」：文字スーパーに表示する言語を選びます。
- ※ 字幕が利用できないか、設定した言語が視聴している放送にない場合、「字幕」の設定で「オン」を選んでも、字幕が表示されません。文字スーパーも同様です。
- ※ 字幕や文字スーパーが必ず表示される場合もあります。

3 項目を ▲・▼ で設定し、 を押す。

- ◆ ほかの項目も変更する場合は、手順 2 から繰り返してください。

放送の種類を設定する

-  を押した際に切り換わる放送の種類から、必要のないものを表示しなくすることができます。

1  を押し、「機器設定」⇒「設置設定」⇒「受信対象設定」の順に進み、 を押す。

2 ▲・▼を押して、「BS」か「CS」を選択し、 を押す。最後に、「使わない」を選びます。

オンタイマーを使う

- 設定した時刻にテレビの電源を「入」にすることができます。

1  を押し、「タイマー設定」⇒「オンタイマー」の順に進み、 を押す。

2 オンタイマーの設定をします。

- ◆ 「オンタイマー」：オンタイマーを使う場合は「入」を選び、新規に設定する場合及び中止する場合は「切」を選びます。新規設定時には、以後の設定完了時に「入」とします。
- ◆ 「時刻」：電源を「入」にする時刻を設定します。リモコンの  ～  で設定します。
- ◆ 「音量」：電源が「入」になったときの音量を設定します。
- ◆ 「放送／入力」：電源が「入」になったときに表示する放送または外部入力を選びます。「設定しない」、「地上D」、「BS」、「CS」、「HDMI 1」、「HDMI 2」、「HDMI 3」、「ビデオ」から選びます。電源を切る前の放送または外部入力を表示させたいときは、「設定しない」を選びます。
- ◆ 「チャンネル」：電源が「入」になったときに表示するチャンネルを設定します。リモコンの数字ボタンに設定されているチャンネルを選びます。「放送／入力」の設定が、「設定しない」になっている場合、「---」が表示されます。
- ◆ 「チャンネル名」：「チャンネル」で選んだ放送局名が表示されます。

3 設定が終了したら、 を押します。

オフタイマーを使う

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1  を押して、電源を「切」にする時間を設定します。

- ◆ ボタンを押すたびに、「オフ」、「30 分後」、「60 分後」、「90 分後」に切り換わります。
- ◆ 電源が「切」になる 3 分前から「3 分後」、「2 分後」、「1 分後」が点滅表示され、30 秒前から 10 秒おきに段階的に画面が暗くなり、音量が小さくなります。その間に操作をすると、画面と音量は元に戻りますが、オフタイマーは解除されません。
- ◆ オフタイマーを解除するには、「オフ」が表示されるまで押します。
- ◆ オフタイマーの残り時間を確認するときは、 を押します。

無操作オフを使う

- テレビの無操作状態が4時間以上続くと、自動的に電源を「切」にします。

- 1  を押し、「タイマー設定」⇨「無操作電源オフ」の順に進み、 を押す。
- 2 ▲・▼で「入」を選び、 を押す。

無信号オフを使う

- 約10分以上無信号状態が続くと、自動的に電源を「切」にします。

- 1  を押し、「タイマー設定」⇨「無信号電源オフ」の順に進み、 を押す。
- 2 ▲・▼で「入」を選び、 を押す。

高速起動を使う

- リモコンで電源を「入」にしたときに、短時間で画面を表示させることができます。

- 1  を押し、「機器設定」⇨「設置設定」⇨「高速起動」の順に進み、 を押す。
- 2 ▲・▼で「入」を選び、 を押す。

時計表示を使う

- 画面の左下に時計を表示させることができます。

- 1  を押し、「機器設定」⇨「表示の設定」⇨「時計表示」の順に進み、 を押す。
- 2 ▲・▼で「オン」を選び、 を押す。

映像信号を切り換える

- マルチビュー放送の番組で映像や音声を切り換えることができます。

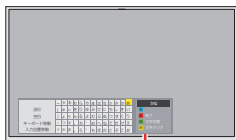
- 1 番組の視聴中に を押します。
- 2 ▲・▼で「信号切換」を選び、 を押す。
- 3 ▲・▼で「マルチビュー」または「映像」か「音声」を選び、設定をします。
 - ◆ 「マルチビュー放送」は、1つの番組に複数の映像や音声のある放送です。
 - ◆ このオプションが利用できるかどうかは番組によります。

文字を入力する

- 文字の入力方法は、下記「画面キーボード」方式のみにサポートしています。
- メニュー上の「機器設定」、「その他の設定」、「文字入力設定」では、その入力方法は「画面キーボード」方式でのみ固定されます。

画面キーボード方式

- 画面に表示されるキーボードから文字を入力します。

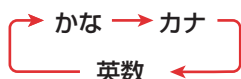


	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	さ	か	あ	
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
空白	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
キーボード移動	!	っ	え	、	れ	°	め	へ	ね	て	せ	け	え
入力位置移動	?	わ	お	。	ろ	°	も	ほ	の	と	そ	こ	お

かな
青 終了
赤 文字切換
緑 文字クリア
黄

1 緑 を押して、入力文字種を選びます。

- ◆ 入力文字種は、以下のように切り換わります。



2 ▲・▼・◀・▶でキーボードから文字を選び、決定を押す。

- ◆ 上記を繰り返して、文字を入力します。

3 青 を押してから ▲・▼・◀・▶で文字を変換し、決定を押す。

- ◆ 入力文字種が「かな」か「カナ」のときは、青 を押してから ▲・▼ で漢字を選びます。
- ◆ 入力文字種が「かな」か「カナ」のときは、青 を押してから ◀・▶ で文字の範囲を指定し、▲・▼ で漢字を選びます。
- ◆ 入力文字種が「英数」のときは、青 を押してから ▲・▼ でアルファベットと数字の全角半角を選びます。
- ◆ 記号を入力するには、「きこう」と入力したあと 青 を押し、▲・▼ で記号を選びます。
- ◆ 変換を取り消すには、黄 を押します。

4 文字入力終了したら、赤 を押します。

- ◆ キーボードが消えます。

変換方法を「予測方式」にしているとき

- 変換方法を「予測方式」にしているときは、文字を入力すると候補が表示されます。
- 変換方法の設定方法については、36 ページを参照してください。

① ▲・▼・◀・▶でキーボードから文字を選び、決定を押す。

- ◆ 変換候補はキーボードの上に表示されます。

手 天気	テレビ てっきり												予測変換
	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	さ	か	あ	
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
空白	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
キーボード移動	!	っ	え	、	れ	°	め	へ	ね	て	せ	け	え
入力位置移動	?	わ	お	。	ろ	°	も	ほ	の	と	そ	こ	お

かな
青 変換
赤 確定
緑 文字クリア
黄

- ◆ 青 を押すと通常方式の変換に戻ります。

② ▲・▼・◀・▶で変換候補を選び、決定を押す。

文字を追加する

- ① ▲・▼・◀・▶でキーボードから「入力位置移動」を選び、決定を押す。
- ② ▲・▼・◀・▶でカーソルの位置を文字を追加したいところまで移動し、決定を押す。
- ③ 文字を入力します。
 - ◆ 文字がカーソルの左側に追加されます。

文字を削除する

- ① ▲・▼・◀・▶でキーボードから「入力位置移動」を選び、決定を押す。
- ② ▲・▼・◀・▶でカーソルの位置を文字を削除したいところまで移動し、黄 を押します。

変換方式を切り換える

- 変換方式には、通常方式と予測方式の2種類あります。

1 メニュー を押し、「機器設定」⇄「その他の設定」⇄「文字入力設定」⇄「変換方式」の順に進み、決定を押す。

2 ▲・▼で「通常方式」か「予測方式」を選び、決定を押す。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- お好みのデジタル放送番組を録画できます。映像の無いデータ放送番組や、ラジオ放送番組及び外部入力（HDMI）からの映像・音声は録画できません。
- 録画機能を使う前に、USB ハードディスクをテレビに接続します。USB メモリーは使用しないでください。はじめて USB ハードディスクをテレビに接続したときは、画面の指示に従って USB ハードディスクの設定をします。これで、録画ができるようになります。
- 160GB 以上の容量がある USB ハードディスクのみ使用することができます。
- 登録した USB ハードディスクをほかの機器で使用しないでください。USB ハードディスクが初期化され、録画した番組がすべて消去されます。
- 登録した USB ハードディスクに録画した番組は登録先のテレビでのみ再生できます。他のテレビ（同じ型のテレビも含む）やパソコンでは再生できません。
- 故障で本機を修理に出した場合などは、USB ハードディスクに録画した番組を本機で再生できなくなります。

USB ハードディスクを本機に登録する

- USB ハードディスクに録画や録画予約をするときは、登録が必要です。登録すると、USB ハードディスクは初期化され、すべてのデータが消去されます。
- USB ハードディスクを接続したときに表示される画面上の指示に従って設定をしてください。
- まだ登録されていない USB ハードディスクを接続する場合は、以下の手順で登録をします。

1  を押し、「機器設定」⇒「USB 機器管理」の順に進み、 を押す。

- ◆ 「USB 機器一覧」が表示されます。

USB 機器一覧					
機器	接続	モデル名	表示名	モード	録画可能時間
1	接続	○○○○○○○○		未登録	
2	未接続	○○○○○○○○	○○○○○	登録 [録画用]	○○:○○
3	未接続	○○○○○○○○	○○○○○	登録	○○:○○
4	未接続	○○○○○○○○	○○○○○	登録	○○:○○
5					
6					
7					
8					
9					
10					

戻る 取り外し 機器詳細 表示名変更 登録削除

- ◆ 「USB 機器一覧」の「モード」には、USB ハードディスクの登録モードが表示されます。
 - ◆ 「登録 [録画用]」：録画・再生用に登録されています。
 - ◆ 「登録」：録画番組の再生用に登録されています。
 - ◆ 「未登録」：登録されていない USB ハードディスクです。
- ◆ 「USB 機器一覧」の「録画可能時間」には、USB ハードディスクの録画可能な残り時間が表示されます。

2 ▲・▼で未登録の USB ハードディスクを選び、 を押す。

3 画面に表示される内容に従って、録画ように登録します。

- ◆ USB ハードディスクは 8 台まで登録できますが、録画用に使えるのは 1 台のみです。それまで録画用で使っていた USB ハードディスクは再生のみに変更されます。

録画・予約機能について つづき

USB ハードディスクの取りはずし

- USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前に以下の操作をします。
- ①  を押し、「機器設定」⇒「USB 機器管理」の順に進み、 を押す。
- ② ▲・▼で接続している USB ハードディスクを選び、 を押します。

USB ハードディスクの詳細情報を見る

- ①  を押し、「機器設定」⇒「USB 機器管理」の順に進み、 を押す。
- ② ▲・▼で USB ハードディスクを選び、 を押します。
 - ◆ モデル名と最大容量についての情報が表示されます。
 - ◆ 十分な空き容量がない場合は、必要のない番組を削除します。

USB ハードディスクの表示名を変更する

- ①  を押し、「機器設定」⇒「USB 機器管理」の順に進み、 を押す。
- ② ▲・▼で登録されている USB ハードディスクを選び、 を押します。
 - ◆ 文字入力画面が表示されます。
- ③ 表示名を入力し、 を押します。
 - ◆ 文字入力方法については、36 ページを参照してください。

USB ハードディスクの登録を削除する

- 登録されている USB ハードディスクが、8 台を超えると、使用しなくなった USB ハードディスクの登録を削除します。
- 登録を削除すると、ハードディスクに録画した番組は再生できなくなります。再登録をすると USB ハードディスクは初期化され、録画した番組がすべて消去されます。
- ①  を押し、「機器設定」⇒「USB 機器管理」の順に進み、 を押す。
- ② ▲・▼で登録されている USB ハードディスクを選び、 を押します。
- ③ 画面に表示される内容に従って、登録を削除します。

録画モードと録画可能時間について

- USB ハードディスクで録画できる時間の目安は以下のようになります。
- 本機に接続した USB ハードディスクに録画するときの録画モードは「標準」になります。
 - ※ 「標準」：放送そのままの画質
- 録画時間は、放送の転送レートによって異なります。録画可能時間は理論値によって計算されています。実際と異なる場合があります。

容量	録画モード	標準		
		地上波デジタル HD 放送 ($\leq 17\text{Mbps}$)	BS デジタル HD 放送 ($\leq 24\text{Mbps}$)	BS デジタル SD 放送 ($\leq 12\text{Mbps}$)
500GB		約 62 時間	約 44 時間	約 88 時間
1TB		約 124 時間	約 88 時間	約 176 時間
2TB		約 248 時間	約 176 時間	約 352 時間

- ※ 互換性があり弊社で接続動作確認済みの USB ハードディスクは、別添資料を参照ください。

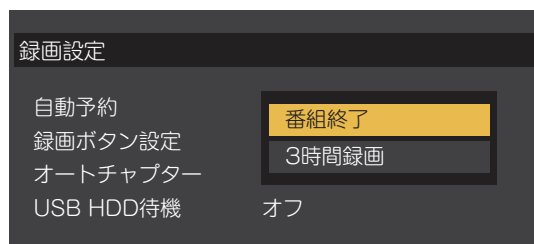
録画基本設定

- USB ハードディスクを使用して録画または再生をする前に、下記の設定を行って下さい。

録画ボタンの設定

- 録画の自動停止時間を設定できます。

- 1 を押す、「機器設定」⇒「録画設定」⇒「録画ボタン設定」の順に進み、を押す。



- 2 ▲・▼を押して「番組終了」または「3時間録画」を選択し、を押す。

- ◆ 「番組終了」：を押すと観ている番組は番組終了時に自動的に終了します。
- ◆ 「3時間録画」：を押すと観ている番組は3時間後に終了します。

自動予約設定

- 家に不在の時など、一時的に期間のシリーズ予約を停止するようにテレビを設定することができます。

- 1 を押す、「機器設定」⇒「録画設定」⇒「自動予約」の順に進み、を押す。

- 2 ▲・▼を押して「オン」または「オフ」を選択し、を押す。

- ◆ 「オン」：自動録画予約
- ◆ 「オフ」：自動的に録画予約されません。

オートチャプターの設定

- 録画番組にチャプターマークの自動追加を設定できます。

- 1 を押す、「機器設定」⇒「録画設定」⇒「オートチャプター」の順に進み、を押す。

- 2 ▲・▼を押して「オン」または「オフ」を選択し、を押す。

- ◆ 「オン」：番組を録画しながら、チャプチャーマークが自動的に追加されます。
- ◆ 「オフ」：チャプチャーマークは追加されません。

USB ハードディスク の設定

- まだ使用していない待機中の USB ハードディスクを接続し、設定します。

- 1 を押す、「機器設定」⇒「録画設定」⇒「USB HDD 待機」の順に進み、を押す。

- 2 ▲・▼を押して「オン」または「オフ」を選択し、を押す。

- ◆ 「オン」：USB ハードディスクは 待機しません。
 - ◆ 「オフ」：USB ハードディスクは 待機します。
- 「オフ」の場合、USB ハードディスクの消費電力が低減されますが、記録や再生などの開始に時間がかかります。
 - 「オン」の場合、録画または再生するとき、または電源を入れ直すの操作を実行すると、有効になります。
- ※ 「USB ハードディスク 待機」で「オン」にした場合、省エネ機能が、USB ハードディスク上で有効になっている場合に USB ハードディスクはスタンバイモードになることがあります。

録画と予約

- 特定の時間に番組を一つだけ予約または録画予約、記録することができます。
-  を押すと、録画中の番組を再生することができます。そしてその後  を押す。しかし、再生中の動画像が影響を受ける可能性があります。
- コンセントから電源コードを抜いたり、USB ハード・ディスクを抜かないでください。USB ハードディスクへのデータの損失や破損の原因となります。
- 録画予約の最大数は 64 です。USB ハードディスク上の録画可能な番組の最大数は 3000 です。
- データ放送のデータは、ビデオとオーディオの記録、それが再生可能かどうかは、番組の状態に依存します。
- ラジオ放送番組が記録されません。

現在視聴中の番組を録画

- 簡単に今見ているテレビ番組を録画することができます。視聴の途中で外出する場合に便利です。

1 を押す。



- ◆ 録画開始。
- ◆ 録画は、USB ハードディスク内のストレージは 3 時間後に、時間切れ、または番組終了時に自動的に停止します。セットアップモードを選択するには、39 ページを参照してください。
- ◆ 手動で  を押して録画を停止します。

番組表を使って録画予約する

- 視聴または録画のためにテレビ番組を予約することができます。

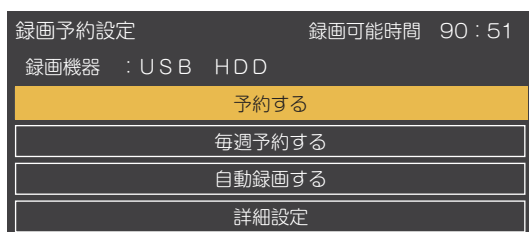
1 を押す。

2 ▲・▼・◀・▶を押して、「番組」を選択して、を押す。

- ◆ 番組の詳細が表示されます。「今すぐ見る」または「視聴予約」選択された番組の放送時間に応じて表示されます。現在放送されている番組については、番組を視聴するために「今すぐ見る」を選択します。まだ放送が始まっていない番組については、番組を予約するために「視聴予約」を選択します。
- ◆ 視聴予約の操作は、録画予約と類似しており、ここでは録画予約についてのみ以下に説明します。
- ◆ すぐに番組録画予約するときは、番組を選択後、を押してください。

3 ◀・▶を使って「録画予約」を選択し、を押す。

- ◆ 「録画予約設定」が表示されます。



- ◆ 「予約する」：選択番組を予約する。
- ◆ 「毎週予約する」：毎週番組を予約する。
- ◆ 「自動録画する」：シリーズ番組を予約する。
- ◆ 「詳細設定」：予約の詳細設定。

4 ▲・▼を押すことで「予約する」を選択し、そしてを押す。

- ◆ 番組が現在放送されている場合は、録画がすぐに開始します。
- ◆ 予約番組は、テレビの視聴中にも予約時刻の画面から始まります。テレビの電源がオフのとき、番組予約は起動しません。
- ◆ 予約が完了すると、メッセージは、最大 10 秒間表示されます。予約状況を確認するためにを押すことができます。予約マークは予約番組リストに示されています。
- ※ 一つの番組を見るために、または任意の時間に録画予約することができます。予約番組が重なっている場合には、注意のメッセージが画面上に示されています。「はい」を選択し、次にを押します。「予約重複確認」画面が表示されます。重なった予約番組を選択し、を押して削除します。
- ※ 予約番組の開始時間を確認することが出来ないとき、予約番組の開始時刻から3時間以内に重複している他の予約番組は予約が無視されます。

毎週の予約をするために

- 自動番組予約をすると、同じ曜日の同じ時刻に放送する番組を選択すると、「全番組」をセットすることができます。
- ① 「番組表を使って録画予約する」の手順 4 の「録画予約設定」画面で「毎週予約する」を選び、を押す。
 - ② 確認画面で「はい」を選択し、を押す。

自動予約をするために

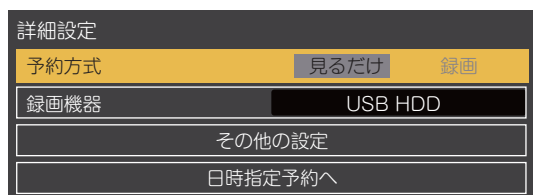
- シリーズ番組予約を設定することができます。時間と日付なしに自動的に確保されます。（次の放送時間と日付が放送チャンネル、時間帯が自動的に検索されます）
- ① 「番組表を使って録画予約する」の手順 4 の「録画予約設定」画面で「自動録画する」を選び、を押す。
 - ② 確認画面で「はい」を選択し、を押す。

録画と予約 つづき

- ◆ シリーズ予約は24個までできます。
- ◆ 極端に短い番組タイトルは、セットアップのために使用することはできません。
- ◆ 番組タイトルが前のものと異なる場合、次の放送が検索されない場合があります。
- ◆ 同じ番組が1日に複数回放送される場合は、1回だけ予約を設定します。
- ◆ 次の予約を設定するために1日程度かかる場合があります。
- ◆ 次の放送時間が90分以上シフトする場合は、予約が行われない場合があります。
- ◆ 「録画設定」「自動予約」「オフ」を選択した場合は、一時的に次の予約を停止します。
- ◆ 「録画予約設定」⇒「毎週予約する」または「自動録画する」録画された番組が、「録画リスト」画面でまとめ番組として示されます。

録画予約の詳細を設定するには

- 録画予約の詳細を設定できます。
- ① 「番組表を使って録画予約する」の手順4の「録画予約設定」画面で「詳細設定」を選び、**決定**を押す。
- ◆ 「詳細設定」画面が表示されます。



- ◆ 「予約方式」: 「視聴」または「録画」から選びます。
- ◆ 「録画機器」: 録画するためにUSBハードディスクを選択。
- ◆ 「その他の設定」: 「録画番組のプロテクト」をセット。(以下で説明)
- ※ オプションは、視聴予約には使用できません。
- ◆ 「日時指定予約へ」: 「日時指定予約」を画面表示。詳細については、下記の「指定した日時に番組を予約するには」を参照してください。
- ② お望みのように予約設定を変更します。
- ③ **戻る**で「録画予約設定」画面に戻ります。」
- ④ **▲・▼**で「予約する」を選択し、**決定**を押す。

録画した番組の保護を設定するには

- 誤って削除されないよう、重要な録画番組を保護するように設定することができます。
- ① 「番組表を使って録画予約する」の手順4の「録画予約設定」画面で「詳細設定」を選び、**決定**を押す。
- ② **▲・▼**で「その他の設定」を選択し、**決定**を押す。
- ③ 「録画番組のプロテクト」の「する」を選択する。
- ◆ 録画番組の保護状態を変更する方法の詳細については、44ページを参照してください。

- ④ **戻る**を二回押し、「録画予約設定」画面に戻ります。
- ⑤ **▲・▼**で「予約する」を選択し、**決定**を押す。

指定した日時に番組を予約するには

- 番組録画予約のために、日時指定を行えます。
- ① **メニュー**を押し、「タイマー設定」⇒「日時指定予約」を選択し、**決定**を押す。
- ◆ 「日時指定予約」画面が表示されます。
- ◆ 日時指定の予約は、事前に最高1年先まで番組予約が出来ます。



- ◆ 「予約方式」: 「見るだけ」または「録画」を選択。
- ◆ 「放送種別/チャンネル」: 放送のネットワークとチャンネルを設定します。
- ◆ 「曜日/日」: 予約のための週の日付や曜日を設定します。「毎日」または「毎週」も選択できます。
- ◆ 「開始時刻」: 予約の開始時刻を設定します。
- ◆ 「終了時刻」: 予約の終了時刻を設定します。
- ◆ 「その他の設定」: 「録画番組のプロテクト」の設定。(42ページ参照)。
- ② 各項目の設定。
- ③ **▲・▼**で「予約する」を選択し、**決定**を押す。
- ◆ メッセージを確認し、確認画面やエラー画面に応じて操作してください。
- ◆ 「曜日/日」⇒「毎日」または「毎週」自動録画された番組が、「録画リスト」画面でまとめ番組として示されます。

録画リストの表示

- USB ハードディスクに録画した番組を視聴するために、次の手順を実行します。

1 を押す。

- ◆ 録画リスト画面が表示されます。



番組情報アイコンについて

- 画面一覧画面の番組情報アイコンは以下のとおりです。

アイコン	意味
	新しい録画（未視聴）
	録画中
	保護中
	まとめ番組（まとめ番組を再生する方法については 46 ページを参照してください）

- ◆ 録画した番組を再生し終えた後、録画リスト画面に戻ります。
- ◆ USB ハードディスクを使用して記録中に記録された番組を再生すると、それはその再生されている番組に影響を与える可能性があります。
- ◆ リモコンを使用して録画した番組を再生する方法の詳細については、46 ページをご参照ください。

録画した番組を削除するには

- ① ▲・▼で削除したい番組を選択し、を押す。
- ◆ 確認のダイアログボックスが表示されます。
- ※ 保護が解除されるまで保護下の番組を削除することはできません。
- ② 「はい」を選択し、削除されたことを確認して、を押す。
- ◆ 削除をキャンセルするには、「いいえ」を選択し、を押す。

録画した番組を再生するには

- ① ◀・▶でカテゴリを選択し、▲・▼で番組を選択し、決定を押す。
- ◆ 選択された番組の再生が始まります。そして再生画面が表示されます。
 - ◆ 再生が開始された後に画面が数秒間消えます。画面を表示するには、**画面表示**を押します。
 - ◆ 再生画面の詳細については、47 ページを参照してください。
 - ◆ 録画した番組を見ているとき、途中で停止している場合は、最初から、または最後の再生位置から再生を開始するように選択することができます。(再生を再開) [つづきから再生] または [最初から再生] を選択し、決定を押す。

一度に複数の録画した番組を削除するには

- ① ▲・▼で削除したい番組を選択し、を押します。
- ◆ 選択された番組にはチェックマークが表示されます。
番組の選択を解除するには、を再び押しください。
- ② 最初のステップを繰り返し複数の番組を選択します。そしてを押します。
- ③ 「はい」を選択し、削除されたことを確認して、を押す。

録画と予約 つづき

録画した番組の保護状態を変更するには

- ① ▲・▼を押して保護または保護解除したい番組を選択し、を押す。
- ② 「プロテクト設定変更」を選択し、を押す。
- ③ 「する」または「しない」を選択し、を押す。

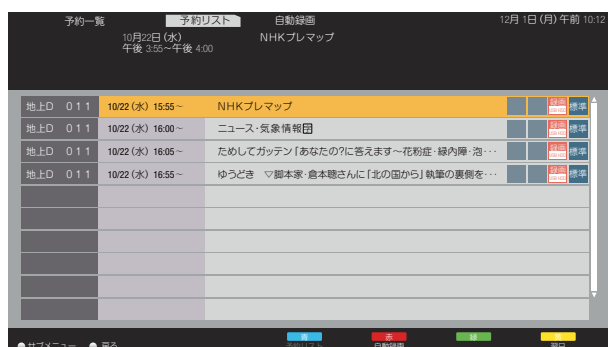
記録された番組名を変更するには

- ① ▲・▼を押し、名前を変更したい番組を選択し、を押します。
- ② 「番組名編集」を選択し、を押す。
- ③ 番組名を入力し、を押す。
 - ◆ 文字を入力する方法の詳細については、36 ページをご参照ください。

予約リストを表示します

- 1 を押す。

- ◆ 「予約一覧」が表示されます。



- 2 を押して記録されている通常の番組予約リストを表示する。または を押して次回以降のシリーズ番組予約リストを表示する。

- ◆ 最大 64 本分の録画予約が表示されます。予約の記録の数が 64 本を超える場合は、最も古い予約から削除されます。
- ※ シリーズ予約のまだ予約されていない番組は、64 本のうちに入りません。

予約のステータスを示すアイコン

- 「予約一覧」画面の右サイド、予約のステータスを示すアイコンが表示されます。

アイコン	意味
録画	録画予約した番組。
自動予約	シリーズ予約した番組。
次回未定	シリーズ予約の次の放送が、まだ見つかりません。
見るだけ	視聴予約した番組。
済	予約時間が終了した番組。
済 取消	予約の取り消し操作をしたり、番組録画が録画機器状態によって取り消された。
済 おしらせ	予約実行の中止、時間の変更、指定の信号で録画することができないなど、録画装置が正しく動作していない時に表示します。
重複	優先度の低い重複した予約を表示。
警告	予約は、受信チャンネルの変更などにより実行され無い時に表示。

予約を削除するには

- ① ▲・▼で、削除したい番組を選び、を押す。
 - ◆ 確認のダイアログボックスが表示されます。
 - ◆ すべての予約を削除するには、を押し、「全履歴削除」を選択し、を押す。
- ② 「はい」を選択し、削除を確認し、を押す。
 - ◆ 削除をキャンセルするには、「いいえ」を選択し、を押す。

予約の設定を変更するには

- ① ▲・▼を押し、予約を変更したい番組を選択し、を押す。
- ② ▲・▼を押し「設定変更」を選択し、を押す。
 - ◆ 「設定変更」画面が表示されます。
- ③ ▲・▼を押しアイテムを選択し、セットアップ行います。を押す。
 - ◆ 「予約削除」を選択し、予約を削除します。
 - ◆ 選択した予約がエンコーディング中の場合、録画を停止する「取り消し」を選択することができます。
 - ◆ 選択した予約が週予約の場合は、「日時指定予約」画面が表示されます。
- ④ セットアップ後「修正する」を選択し、を押す。
 - ◆ 重複メッセージが表示された場合は、「はい」を選択して、を押して予約を削除します。

優先予約

- 予約番組の開始時間が、他の予約と重複する場合には、重複する番組は記録されません。このテレビは、重複した番組の優先順位付けをし、それらを自動的に記録します。

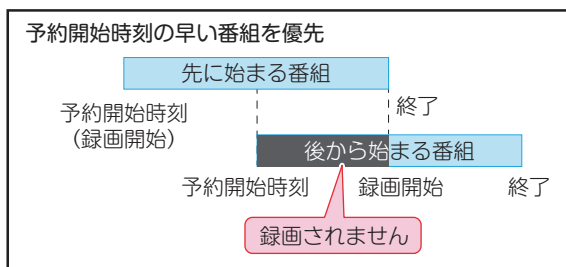
録画予約を最優先におきます

- 予約を記録するとき、録画中と見ている予約が重複しているとき、録画予約をすることを最優先し、現在の録画と見ている予約は停止またはキャンセルされます。



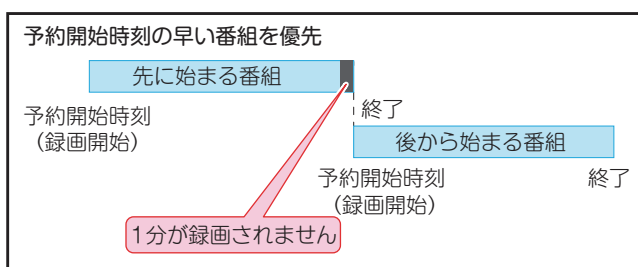
二つの予約が重複した場合

- 後で開始する予約の開始時刻が早く開始する予約の終了時刻と重なった場合に、早く開始する予約が終了するまで、後に開始する予約が開始されません。



後の予約は先の予約の終了1分後に開始

- 先に開始している番組の終了時刻が後に開始する番組の開始時刻と同じである場合、先に開始している番組の終了時に約1分録画されません。



予約操作

- 予約が設定された後、テレビの操作は以下の通りです。

予約番組が放送されると開始されます

- 予約番組の放送時間に近づくと、画面上にメッセージが表示されます。
- 予約を記録する場合には、予約番組のチャンネルに切り替えます。
- 視聴年齢制限の予約番組が起動したら、画面上にメッセージが表示されます。を押して、個人識別番号を入力します。



リザーブ番組の放送中に

- 予約番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「この操作を行うには、録画を中止する必要があります。録画予約が始まっているときは、予約中止されます。」または、「録画中は操作できません。」というメッセージが表示されます。



予約番組の放送後

- いつものようにテレビを使用することができます。

録画と予約 つづき

リモコンを使用して録画した番組を再生します



ボタン	操作
	再生や録画リストを表示するためのテレビ番組を見ている途中に押します。
	- 見ているテレビ番組中にまたはビデオ入力録画一覧を表示中に押します。録画番組を見て、途中で停止している場合は、最初から、または最後のプレーの地点から再生を開始するように選択することができます。 - 一時停止中に押すと、再生を再開します。
	- 再生中に押すと一時停止します。 - 一時停止中に押すと、再生を再開します。
	押して、再生を停止します。
	再生中に押すと、現在のチャプターの先頭にスキップします。もう一度押すと、前のチャプターの先頭にスキップします。（前の番組にスキップしません。）
	再生中に押すと、次のチャプターの先頭にスキップします。（次の番組にスキップしません。）
	- 早戻し再生中に 1 秒以上押します。ボタンを長押しすると、早戻しのスピードが速くなります。 - 通常の再生に戻るには、を押します。
	- 再生中に 1 秒以上押して、早送りします。ボタンを長押しすると、早送りの速度が速くなります。 - 通常の再生に戻るには、を押します。

録画・予約機能

まとめ番組を再生

- 「毎週予約する」または「自動録画する」で USB ハードディスクに録画されている番組は 録画リスト上にグループとして示されている（「まとめ」）。複数番組は、番組 1 つのグループにマージされます。まとめ番組を再生するには、次の手順を実行します。

1 を押し、番組グループを選択して、 を押す。

- まとめられている番組のリストが表示されます。

2 ・ を押し、再生したい番組を選択する、 を押す。

- 選択された番組の再生が始まります。

選択されたチャプターを再生

- 選択し、希望のチャプター（シーン）を再生することができます。

1 を選択し、見たい番組を選択、 を押す。

- 「チャプター一覧」画面が表示されます。

2 ・ を押し、再生したいシーンを選択し、 を押す。

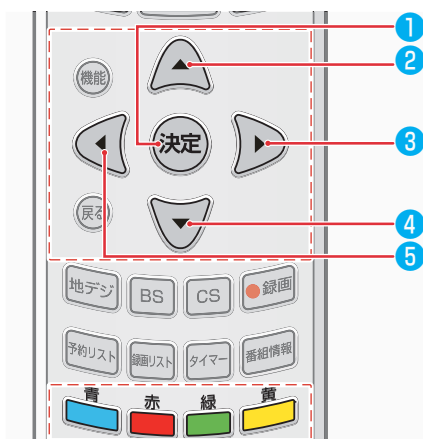
- 選択したシーンの再生が始まります。

再生画面について

- 録画再生をしているときは、再生画面が表示されます。
- 再生開始後に再生画面が数秒後に消えます。もう一度画面を表示するには、**画面表示**を押します。



操作パネルについて



1 決定 :

- 再生中に押すと、一時停止します。
- 一時停止中や早送り中、早戻し中に押すと、通常速度の再生へ戻ります。

2 ▲ :

- 再生中や早送り中、早戻し中に短く押すと、30 秒スキップします。
- 3 秒以上押すことにより、10 秒巻き戻します。

3 ▶ :

- 再生中や早送り中、早戻し中に押すと、早送りのスピードアップ（5 段階）をします。

4 ▼ :

- 再生中に押すと、「録画一覧」画面に戻ります。

5 ◀ :

- 再生中や早戻し中、早送り中に押すと、早戻しのスピードアップ（5 段階）をします。

青 :

- 再生中に押すと、現在のチャプターの先頭にスキップします。もう一度押すと、直前のチャプターの先頭にスキップします。（前の録画番組へはスキップしません。）

赤 :

- 再生中に押すと、次のチャプターの先頭にスキップします。（次の録画番組にはスキップしません。）

緑 :

- 再生中に押すと、「チャプター一覧」画面を表示します。

黄 :

- 一度押して A 点を設定し、再び押して B 点を設定します。これにより A 点と B 点間を繰り返し再生します。更に押すと、A 点から通常再生となります。

再生状態について

- 再生状態は以下のとおりです。

表示	状態
▶	再生中
⏸	一時停止中
▶▶▶▶▶	早送り中（5 段階）
◀◀◀◀◀	早戻し中（5 段階）

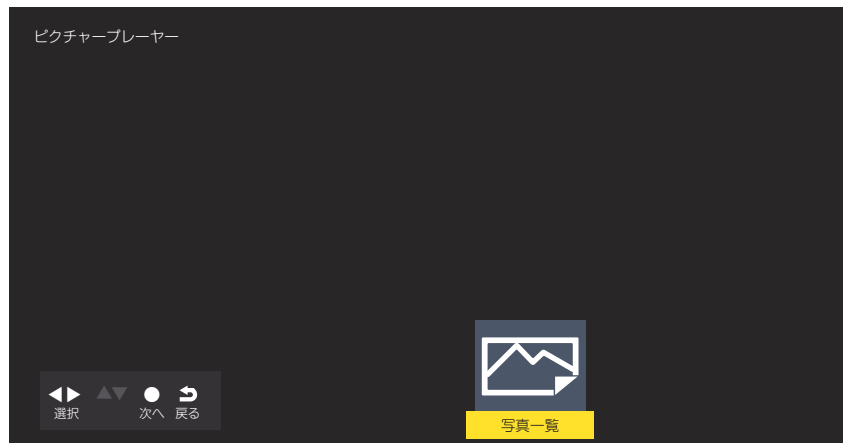
ピクチャープレーヤーの使いかた

- ピクチャープレーヤーは、外部ストレージデバイスに保存された写真を見ることができます。（USB メモリや USB ハードディスク、デジタルカメラ等）
- ※ デジタルカメラや携帯電話などの一部の USB 製品は、USB2.0/3.0 規格に完全に互換性がありません。そのため、プレーヤーが正常に動作しない場合があります。写真のファイル等を含む USB デバイスを、テレビの USB ポートに接続します。

1  を押します。

2 ▲・▼を押して、「ピクチャープレーヤー」を選択して、 を押す。

- ◆ 「ピクチャープレーヤー」画面が表示されます。



3 「写真一覧」を選択して、 を押す。

4 ピクチャーリスト画面が表示されます。

- ◆ 一部のコンテンツは、使用している USB デバイスによっては、正しく表示されない場合があります。
- ◆ ファイルやフォルダが大きいときには、表示に時間がかかる場合があります。
- ◆ 一部の欠陥ファイルは、低解像度で表示されかも知れません。
- ◆ フォルダ名やファイル名は、お使いのデジタルカメラやデジタルビデオカメラによって異なる場合があります。

写真を見る

- デジタルカメラ等、携帯電話で撮影した写真を見るには。

1 写真一覧から▲・▼・◀・▶ボタンを押して、写真を選択し、 を押す。

- ◆  を押して、スライドショー詳細やスライドショーの詳細設定を開始します。詳細については、下記を参照してください。
- ◆  を押して、写真のリストを分類します。
- ◆  を押して、表示すべき USB デバイスを選択します。
- ◆  を押して、内容を変更します。
- ◆  を押して、選択したコンテンツの詳細情報を表示します。

スライドショーとして写真を見るには

- ① 写真コンテンツ一覧画面上で  を押す。
 - ② ▲・▼を押して、「スライドショー開始」を選択し、 を押す。
 - ◆  を押して、操作ガイダンスを表示させたり、非表示にします。
 - ◆  を押して、スライドショーを停止させたり、シングル再生へ戻したりします。スライドショーを再開するには、 をもう一度押してください。
 - ◆ ◀を押すと、前の写真に移動します。▶を押すと、次の写真へ移動します。
 - ◆  または▼を押すと、スライドショーを停止して写真リスト表示へ戻ります。
 - ◆  を押すと、写真を 90 度ずつ回転できます。
- ※ 表示される写真のサイズは、写真の解像度に依存します。（常にフル画面として表示されません）

スライドショーの詳細設定するには

- ① 写真コンテンツ一覧画面で^(機能)を押します。
- ② 「スライドショー設定」を選択、^(決定)を押す。
- ③ ▲・▼により、設定したい項目を選択し、^(決定)を押す。
- ④ お好みに合わせたスライドショーの項目を設定します。
 - ◆ 「表示モード」：写真を拡大する。
 - ※ いくつかの写真は、写真のサイズに応じて拡大されない場合があります。
 - ◆ 「表示間隔」：スライドショーで写真を切り換える間隔を設定します。
 - ※ 間隔は、写真のサイズに応じて異なる場合があります。大きな写真は、より長い間隔となります。
 - ◆ 「リピート」：スライドショーで写真再生を繰り返します。
 - ※ 分類によってスライドショーを行う場合、写真は分類内にて繰り返されます。

サポートされているファイル形式

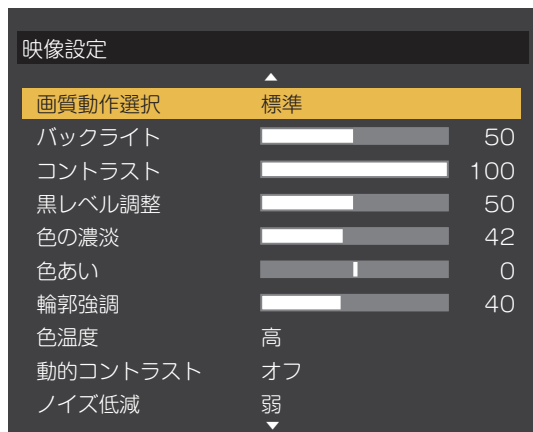
このテレビで再生することができる写真のフォーマット

- JPEG 形式（.JPG ファイル、.JPEG ファイル）
 - サブサンプリング：4：4：4, 4：2：2, 4：2：0
 - 表示画素数：最大 30719 × 17279 ピクセル。最小 8 × 8 ピクセル。
 - ※ DCF と EXIF 規格（デジタルカメラ等に記録されるもの）に準拠したファイルを再生することができます。
 - ※ プログレッシブ JPEG は、未サポートです。

お好みの映像設定

- 映像設定メニューは、視聴している番組の種類とお好みに応じて最適な設定を行うために使用されます。
- 映像設定メニューは、すべての放送種類及びすべての入力ソースに対して個別設定することができます。

- 1  を押し、「映像設定」を選択し、 を押す。



することができます。（画面は値が大きくなるにつれて明るくなります。）

コントラスト

- 映像の明るい部分と暗い部分との差を調整します。
- ① ◀・▶を押して最適なコントラストを設定し、を押す。
- ◆ 「0」～「100」の範囲でコントラストを調整することができます。

黒レベル調整

- 暗部シーンの映像に対する黒レベルを調整します。
- ① ◀・▶を押して最適な黒レベルを設定し、を押す。
- ◆ 「0」～「100」の範囲で黒レベルを調整することができます。

色の濃淡

- 映像の色の濃さを調整します。
- ① ◀・▶を押して最適な色の濃淡を設定し、を押す。
- ◆ 「0」～「100」の範囲で色の濃淡を調整することができます。

色あい（チント）

- 最適な肌色の映像を調整します。
- ① ◀・▶を押して肌色の選択を設定し、を押す。
- ◆ 「-50」（より紫）～「50」（より緑色）の範囲で色合いを調整することができます。

輪郭強調（シャープネス）

- 映像の詳細をより繊細とするために、映像の輪郭の鮮明さを調整します。
- ① ◀・▶を押して最適な輪郭強調を設定し、を押す。
- ◆ 「0」～「100」の範囲で輪郭強調（シャープネス）を調整することができます。

色温度

- 映像全体の色味（暖色系から寒色系）を調整します。
- ① ▲・▼を押して「高」、「中」、「低」を選択し、を押す。
- ◆ 「高」、「中」、「低」：色温度低減の効果を変えます。（映像は「低」ほど暖かい色となります）

- 2 ▲・▼押して設定したい項目を選択し、を押す。

- 3 次の順序で、1 つづお好みの項目を設定します。

- ◆ 他の項目を調整する場合、ステップ2からを繰り返します。

画質動作選択

- 異なる視聴条件に対して最適な「画質動作選択」を選択します。
- ① ▲・▼を押して次のいずれかのオプションを選択し、を押す。
- ◆ 「鮮やか」：明暗がはっきりした、明るい映像とします。
- ◆ 「標準」：毎日家庭で使用する場合に適しています。
- ◆ 「居間」：明るい部屋で視聴するときに適しています。
- ◆ 「映画」：映画を楽しむときに適しています。
- ◆ 「映画 プロ」：映画の原画に忠実な映像を楽しむときに適しています。
- ◆ 「おこのみ」：お好みの映像にカスタマイズする時に使用します。

バックライト

- 映像全体の明るさに影響を与えるバックライト照明の強さを調整します。
- ① ◀・▶を押して最適なバックライトの強を設定し、を押す。
- ◆ 「0」～「100」の範囲でバックライトの強さを調整

動的コントラスト

- 自動的に画像の明るさに応じて輝度を調整します。
- ① ▲・▼を押して「オン」または「オフ」を選択し、**決定**を押す。
 - ◆ 「オン」：動的コントラスト機能を有効にします。
 - ◆ 「オフ」：この機能を無効にします。

ノイズ低減

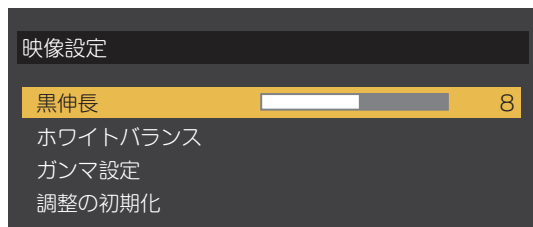
- 画像のちらつきやざらつきを減らします。
- ① ▲・▼を押して「自動」「強」「中」「弱」「オフ」を選択し、**決定**を押す。
 - ◆ 「自動」：映像の種類に応じて自動調整されます。
 - ◆ 「強」、「中」、「弱」：ノイズ低減の効果を変更します。
 - ◆ 「オフ」：この機能を無効にします。
- ※ 「オフ」に設定すると、そのままの映像となります。

MPEG ノイズ低減

- 動きの速い映像のちらつき（モザイク状のブロックノイズ）を減らします。
- ① ▲・▼を押して「強」「中」「弱」「オフ」を選択し、**決定**を押す。
 - ◆ 「強」、「中」、「弱」：MPEG ノイズ低減の効果を変更します。
 - ◆ 「オフ」：この機能を無効にします。
- ※ 「オフ」に設定すると、そのままの映像となります。

高度な設定

- 詳細な映像を調整します。
- ※ このオプションは、「画質動作選択」を「鮮やか」または「標準」へ設定した場合、無効です。
- ① 「高度な設定」を「入」に設定し、**決定**を押す。
- ② ▲・▼を押して「詳細調整」を選択し、**決定**を押す。
 - ◆ 「詳細調整」画面が表示されます。



- ◆ 「黒伸長」：中間よりも暗い部分の諧調を調整します。
- ◆ 「ホワイトバランス」：赤、緑、青のホワイトバランスを調整します。明るい部分と暗い部分を個別に調整します。
- ◆ 「ガンマ設定」：明るい部分と暗い部分の中間輝度を調整します。数値が小さいほど、中間輝度が明るくなります。
- ◆ 「調整の初期化」：工場出荷時の既定値に、すべての高度な設定を元に戻します。

シネマ設定

- 毎秒 24 フレームでのビデオ撮影された映像をより忠実に再現します。
- この設定は、各放送の種別ごとや入力ソースごとに記憶されます。
- ① **決定**を押します。
- ② ▲・▼を押して「シネマリアリティ」を「オン」または「オフ」を選択し、**決定**を押す。
 - ◆ 「オン」：シネマリアリティ機能を有効にします。
 - ◆ 「オフ」：この機能を無効にします。
- ※ 映像が滑らかでない時とか不自然な場合は、「オフ」に設定してください。

画面の設定

- お好みの画面サイズに調整します。
- ① ▲・▼を押して次のいずれかのオプションを選択し、**決定**を押す。
 - ◆ 「画面サイズ切替」：「自動」「フル」「ジャスト」「ノーマル」「ズーム」「サイドカットフル」「サイドカットジャスト」「サイドカットズーム」の中から選択して画面サイズを切り換えます。（最後の3種類のオプションは、入力ソースが「ビデオ」とした場合、無効です。）
 - ◆ 「オーバースキャン」：16:9 映像の上下左右の端を隠すには、「オン」を選択します。
 - ◆ 「両横ノイズカット」：映像の両端のノイズを低減します。画面内の映像に合わせるなら「標準」を選択します。
 - ◆ 「垂直位置/大きさ」：「ジャスト」または「ズーム」の画面サイズを選択時、縦位置と映像サイズを調整します。
- ※ このオプションは、「画面サイズ」を「ジャスト」または「ズーム」へ設定した場合にのみ有効です。
- ◆ 「4:3 映像設定」：4:3 の映像サイズを調整します。これは、1080p、1080i、720p 信号に対しては無効です。

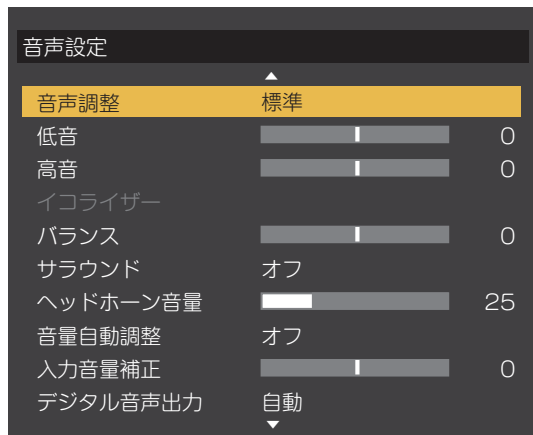
調整の初期化

- 工場出荷時の既定値にすべての映像設定を戻します。
- ① ◀▶を押して「はい」を選択し、**決定**を押す。

お好みの音声設定

- 音声メニューは、音声出力を最適化し最高の音声再生設定を行うために使用されます。
- 音声メニューは、すべての放送の種類とすべての入力ソースに対して設定することができます。

1  を押し、「音声設定」を選択し、 を押す。



2 ▲・▼押しして設定したい項目を選択し、 を押す。

3 次の順序で、1 つづお好みの項目を設定します。

- ◆ 他の項目を調整する場合、ステップ2からを繰り返します。

音声調整

- 異なる視聴条件に対して、最適な音声モードを選択します。
 - ① ▲・▼押しして次のいずれかのオプションを選択し、 を押す。
 - ◆ 「標準」：全音域に対して調整が取れた音質を提供しています。
 - ◆ 「音楽」：高域と低域を強調したメリハリのある音質です。（音楽番組を楽しむためのモードです）。
 - ◆ 「会話」：人の声を聞きやすく調整した音質です。（高齢者の方に推奨します）
 - ◆ 「おこのみ」：お好み音声をカスタマイズします。

低音

- 低音の強さを調節します。
 - ① ◀・▶押しして最適な低音を設定し、 を押す。
 - ◆ 「-15」～「15」の範囲内で低音を調整することができます。

高音

- 高音の強さを調整します。
 - ① ◀・▶押しして好適な高音を設定し、 を押す。
 - ◆ 「-15」～「15」の範囲内で高音を調整することができます。

イコライザー

- プリセット値またはカスタム設定値のいずれかを使用して、異なる周波数での増幅量または減衰量を調整します。
 - ※ この機能は、音声調整モードを利用して「おこのみ」モードの設定時にのみに有効です。
 - ※ この機能は、ヘッドホンやイヤホンでは動作しません。
 - ① ◀・▶押しして周波数を選択し、▲・▼押しして調整し、 を押す。
 - ◆ 工場出荷時の既定値にすべてのイコライザ設定に戻すには、「調整の初期化」を選択し、 を押す。それから、「はい」を選択し、 を押す。

バランス

- 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。
 - ① ◀・▶押しして最適なバランスを設定し、 を押す。
 - ◆ 「L15」(左を大きく)～0～「R15」(右を大きく)の範囲内でバランスを調整することができます。

サラウンド

- 臨場感あふれるサラウンドサウンド効果をもたらすために調整します。
- 最適なサラウンドサウンド効果を楽しむには、画面中央に向かってテレビを見てください。
 - ※ サラウンド機能はモノラル音声に対しては効果がありません。
 - ① ▲・▼押しして「オン」または「オフ」を選択し、 を押す。
 - ◆ 「オン」：サラウンド機能を有効にします。
 - ◆ 「オフ」：この機能を無効にします。
 - ※ 音が歪んで聞こえるときは、「オフ」に設定してください。

ヘッドホンの音量調整

- ヘッドホンの音量を調整します。
 - ① ◀・▶押しして最適なヘッドホン音量を設定し、 を押す。

音量自動調整

- 音が小さい時に自動的に音量を上げ、音が大さい時に自動的に音量を下げるにより、音量変化を抑制します。
- ① ▲・▼を押して「オン」または「オフ」を選択し、を押す。
 - ◆ 「オン」：音量の自動調整機能を有効にします。
 - ◆ 「オフ」：この機能を無効にします。

入力音量補正

- 放送から外部入力へ切り換えると、音量が変わる場合があります。この様なケース、音量を修正することができます。
- 音量補正を行う前に、音量を調整したい放送や外部入力に切り換えて下さい。
- ① ◀・▶を押して入力音量を補正し、を押す。
 - ◆ 「-6」～「6」の範囲内で修正することができます。

デジタル音声出力

- 詳細については、60 ページの「デジタル音声出力の設定」を参照してください。
- ※ このオプションは、テレビ視聴時でのみ使用可能です。

HDMI 音声入力

- 詳細については、60 ページの「HDMI 音声入力の設定」を参照してください。
- ※ このオプションは、HDMI 再生時でのみ使用可能です。

音声同時出力

- スピーカーとヘッドホンの両方に同時出力する様に調整します。
- ① ▲・▼を押して「する」または「しない」を選択し、を押す。
 - ◆ 「する」：スピーカーとヘッドホンの両方へ出力されます。
 - ◆ 「しない」：接続しているヘッドホンへのみ出力されます。テレビにヘッドホンを接続しているときには、スピーカーからは音声は出力されません。

音量を調整するには

- 「する」で設定の場合、テレビ本体上の音量ボタンにてヘッドホンの音量の調整が出来るし、リモコンの音量ボタンによりスピーカー音量の調整が出来ます。（既定値設定は、「する」です）
- 「しない」で設定の場合、リモコンまたはテレビ本体上の音量ボタンによりヘッドホン音量とスピーカー音量を調整することができます。

調整の初期化

- 工場出荷時の既定値にすべての音声設定に戻します。
- ① ◀・▶を押して「はい」を選択し、を押す。

ネットワークの設定

- お使いのテレビからインターネットにアクセスするには、別途インターネットサービスプロバイダと高速ブロードバンドインターネットサービスに加入しなければなりません。
- お使いのテレビは、インターネット対応で、テレビ背面のイーサネット LAN ポートを使用して、ホームネットワークに接続することができます。このテレビのネットワーク機能を有効にするには、画面上の指示に従って設定します。

1 お使いのテレビの背面上のイーサネット LAN ポートとルーターとを LAN ケーブルで接続します。

2 を押し、「通信設定」⇒「ネットワーク接続」を選択し、 を押す。

3 を押して「詳細設定」を選択し、 を押す。

- ◆ 「本機の名称変更 / IP アドレス / DNS アドレス設定」等の画面が表示されます。

本機の名称/IPアドレス/DNS設定	
本機の名称変更	Japan TV
IPアドレス	自動取得
IPアドレス	
サブネットマスク	
ゲートウェイ	
DNSアドレス	自動取得
DNS	
プロキシ設定	

4 以下の手順でネットワーク設定を行います。

IP アドレスと DNS の設定

1 ▲・▼を押して「IP アドレス」を選択し、 を押す。

2 ▲・▼を押して「IP アドレス自動取得」から「自動取得」か「手動設定」を選択します。

- ◆ IP アドレスを自動取得することができれば、「自動取得」を選択します。この場合、DNS は既定値として自動的に取得されます。
- ◆ 自動的に IP アドレスを取得できない場合は、「手動設定」を選択し、次の操作を行います。

- ① ▲・▼を押して「IP アドレス」を選択し、 を押して IP アドレスを入力します。
- ② ▲・▼を押して「サブネットマスク」を選択し、 を押してサブネットマスクを入力します。
- ③ ▲・▼を押して「ゲートウェイ」を選択し、 を押してゲートウェイアドレスを入力します。

- ④ ▲・▼を押して「DNS」を選択し、 を押して優先 DNS サーバーのアドレスを入力します。（手動設定時）
- ◆ 上記手順で「0」～「255」の範囲の数字で4列それぞれ入力します。
- ◆  を押して、最後に入力した文字を削除します。
▶ を押して、前の位置に移動します。

プロキシサーバー設定

- インターネットサービスプロバイダによって指定された場合にのみ、プロキシ（代理）サーバーを設定します。プロキシの設定は、HTTP に関するものです。

1 ▲・▼を押して「プロキシ設定」を選択し、 を押す。

2 ▲・▼を押して「アドレス」を選択し、 を押す。

3 「HTTP プロキシサーバーのアドレスを入力する。

- ◆ 文字入力する方法の詳細については、36 ページをご参照ください。

4 ▲・▼を押して「ポート番号」を選択し、 を押し、ポート番号を入力します。

ネットワーク接続テスト

- テレビがネットワークに接続できる場合でも確認しながら、IP アドレスや DNS などのネットワーク接続パラメータが正しく設定されているかどうかを確認します。

1 を押し、「通信設定」⇒「ネットワーク状態」を選び、 を押す。

- ◆ ネットワーク接続テストが開始されます。テストが終了するのを待ちください。
- ◆ 接続が失敗した場合は、再度ケーブル接続やネットワーク設定を確認し、接続テストをやり直します。
- ◆ 現在のネットワークに関する詳細情報を表示するには、「詳細情報」を選択して  を押します。

アンテナの設定

- テレビがまったく表示されなかったり、映像品質が良くない場合には、受信状態を改善するためにアンテナを調整することができます。

地上波アンテナの設定

- 1  を押し、「機器設定」⇒「設置設定」⇒「受信設定」を選択し、 を押す。

- ◆ 放送ネットワークの選択画面が表示されます。



- 2 ▲・▼ を押し、「地上」を選択、 を押す。

- ◆ 「地上デジタル受信設定」画面が表示されます。



- 3 必要なら、▲・▼と を使って「アッテネーター」を設定する。

- ◆ 「オン」を選択すると、放送信号が強過ぎる場合に安定した映像を得るために信号強度を弱めます。

- 4 ▲・▼ を押し、「物理チャンネル」を選択し、 を押す。

- 5 ▲・▼ を押し、チャンネルを選択し、 を押す。

- 6 アンテナの受信レベルを確認してください。

- 7 受信レベルを最大にするために、アンテナの位置や向きを調整します。

- ◆ アンテナを調整する方法の詳細については、別売のアンテナ取扱説明書を参照してください。

- ※ 高所での作業は危険です。アンテナの向きを調整するには、販売店にご連絡ください。

- 8 所定位置にアンテナを固定します。

衛星 BS・110 度 CS アンテナの設定

- 1  を押し、「機器設定」⇒「設置設定」⇒「受信設定」を選択し、 を押す。

- 2 ▲・▼ を押し「衛星」を選択し、 を押す。

- ◆ 衛星アンテナを設定するための画面が表示されます。

- ※ 「トランスポンダ」「衛星周波数」の変更は受信トラブルを引き起こす可能性があります。局からの情報がある場合を除き、それらを変更しないでください。現在のトランスポンダから別のトランスポンダを選択した場合、そのトランスポンダ上の先頭チャンネルが再生されます。



- 3 ▲・▼ を押し、「アンテナ電源」を選択設定し、 を押す。

- ◆ 「オン」：衛星アンテナ電源を直接アンテナに供給する場合は、「オン」を選択します。

- ◆ 「オフ」：衛星アンテナ電源が他の機器からアンテナに供給されている場合は、「オフ」を選択します。

- 4 アンテナの受信レベルを確認してください。

- 5 受信レベルを最大にするために、アンテナの位置や向きを調整します。

- ◆ アンテナを調整する方法の詳細については、別売のアンテナ取扱説明書を参照してください。

- ※ 高所での作業は危険です。アンテナの向きを調整するには、販売店にご連絡ください。

- 6 所定位置にアンテナを固定します。

初期スキャンと再スキャンの実行

- 次の二つの方法で地上デジタル放送のチャンネルをスキャンすることができます。

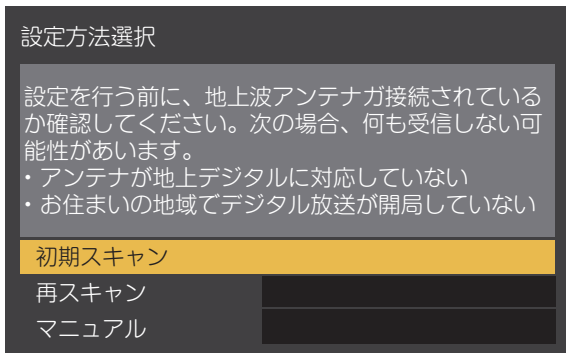
- 初期スキャン：新しくスキャンをやり直すために、「機器設定」⇒「かんたん設定」を選択して、初期スキャンさせることができます。
- 再スキャン：お住まいの地域で新しいデジタルチャンネルを確認するために定期的にチャンネルのスキャンを実行します。

初期スキャンの実行

- 地上デジタル放送用に新しいスキャンチャンネルの為に初期スキャンを実行することができます。
- 新しい場所へ設置移動した場合には、お住まいの地域で利用可能なすべての地上デジタルチャンネルを受信するように、再び初期スキャンを実行する必要があります。

- 1  を押し、「メニュー」⇒「機器設定」⇒「設置設定」⇒「チャンネル設定」⇒「地上デジタル」を選択し、 を押す。

- ◆ 「設定方法選択」画面が表示されます。



- 2 「初期スキャン」を選択し、 を押す。

- 3 「地域選択」を選択し、 を押す。

- 4 ▲・▼を押して、お住まいの地域を選択し、 を押す。

- ◆ お住まいの地域は、地上デジタル放送のチャンネルを設定するために必要です。

- 5 「次へ」を選択し、 を押す。

- 6 「UHF」または「全帯域」を選択し、 を押す。

- ◆ 普通は「UHF」を選択してください。
- ◆ VHF、UHF、C13-C63の周波数帯域は、「全帯域」を選択することによってスキャンされます。
- ◆ スキャンは進行状況を示すプログレスバー付きで開始します。最後まで待ってください。（約1分かかります）

- ◆ 強い放送信号により映像が不安定な場合がありますが、この場合には「機器設定」⇒「設置設定」⇒「受信設定」⇒「地上」⇒「アッテネータ」を選択し、「オン」にしてから、初期スキャンをやり直すしてください。

- 7 設定された内容を確認した後、初期スキャンを完了するために、 を押します。

再スキャンの実行

- 受信状態が変更されたり、新しい局が利用可能となるかも知れないため、その更新を確認するために定期的に再スキャンを実行します。

- 1  を押し、「メニュー」⇒「機器設定」⇒「設置設定」⇒「チャンネル設定」⇒「地上デジタル」を選択し、 を押す。

- 2 「再スキャン」を選択し、 を押す。

- ◆ 再スキャンは、進捗状況を示すプログレスバー付きで開始します。最後までお待ちください。（約1分かかります）
- ◆ 再スキャンが完了すると、受信することができる新たな放送局を自動的に追加します。

- 3 設定された内容を確認した後、再スキャンを完了するために、 を押します。

リモコンボタンへのチャンネル割当て

- ワンタッチでチャンネルを選択することができるように、リモコンの数字ボタンにチャンネルを割り当てることができます。
().
- 利用可能ないずれかの数字ボタンにチャンネルを割り当てるか、数字ボタンに既に割り当てられているチャンネルを変更することができます。

地上波デジタルチャンネルを設定

1  を押し、「機器設定」⇨「設置設定」⇨「チャンネル設定」⇨「地上デジタル」を選択し、 を押す。

2 「マニュアル」を選択し、 を押す。

- ◆ 地上デジタル放送のチャンネルリストが表示されます。

3 ▲・▼を押し、数字ボタンの行を選択し、 を押す。

4 ◀・▶を押し、割り当てるチャンネルを変更してください。

5 チャンネルの割り当て終了後、 を押して終了します。

衛星デジタルチャンネルを設定

1  を押し、「機器設定」⇨「設置設定」⇨「チャンネル設定」を選択し、 を押す。

2 「BS」または「CS」を選択し、 を押す。

- ◆ 衛星デジタル放送のチャンネルリストが表示されます。

3 ▲・▼を押し、数字ボタンの行を選択し、 を押す。

4 ◀・▶割り当てられたチャンネルを変更してください。

5 チャンネルの割り当て終了後、 を押して終了します。

行の順序を置換

- ① 「地上デジタルチャンネルを設定」または「衛星デジタルチャンネルを設定」選択後に、 を押します。
- ② ▲・▼を押し、移動する行を選択後、 を押す。
- ③ ▲・▼を押し、挿入する行を選択後、 を押す。
- ④  を押して終了します。

データ放送の設定

- お住まいの地域に応じたデータ放送を視聴するために、都道府県と郵便番号を設定します。
- 都道府県および「かんたん設定」で設定された郵便番号を変更したいときは、次の操作を行います。

都道府県と郵便番号の設定

- 1  を押し、「機器設定」⇨「設置設定」⇨「地域設定」を選択し、 を押す。

- ◆ 「地域設定」画面が表示されます。

地域設定	
県域設定	京都府
郵便番号	008-8888

- 2 ▲・▼を押し、「県域設定」を選択し、 を押す。

- 3 ▲・▼を押し、あなたが住んでいる都道府県を選択し、 を押す。

- ◆ 「東京都島部」とは、伊豆、小笠原諸島地域。
- ◆ 「鹿児島県島部」とは、南西諸島鹿児島県地域。

- 4 ▲・▼を押し、「郵便番号」を選択し、 ~  で郵便番号を入力します。

- ◆ 直前に入力した番号を削除するには、 を押します。

- 5 設定を終えたら、 を押します。

ルート証明書の表示

- 地上デジタル放送の双方向通信サービスを使用しているときは、このテレビに接続されたサーバーを認証するために使用されるルート証明書の番号等を確認することができます。
- ルート証明書は、地上デジタル放送で放送局から送られてきます。

- 1  を押し、「機器設定」⇨「システム設定」を選択し、 を押す。

- 2 ▲・▼を押し、「ルート証明書」を選択し、 を押す。

- ◆ データ放送用のルート証明情報が表示されます。
- ◆ 確認を終えたら、 を押します。

視聴年齢制限

- 指定された年齢未満のお子さんが番組を観ることを制限するために視聴年齢制限（ペアレンタルコントロール）を設定することができます。
- 視聴年齢制限を設定する前に、4桁の個人識別番号（暗証番号）を設定する必要があります。
- 暗証番号は、視聴制限された対象番組を視聴するために必要です。
- 暗証番号を入力して設定している場合には、暗証番号を変更または削除する際にも、その暗証番号が必要です。

1  を押し、「メニュー」⇒「機器設定」
⇒「視聴制限設定」を選択し、 を押す。

※ 「視聴制限設定」オプションは、TV ソース時にのみ有効です。

- ◆ 暗証番号入力画面が表示されます。

2 画面上の指示に従って  ～  により、4桁の暗証番号を入力します。

- ◆ 初めての暗証番号登録時には、暗証番号を2度入力します。
- ◆ 間違った番号を入力した場合、 を押して、改めて正しい暗証番号を入力してください。
- ◆ 入力した数字は画面上に「*」で表示されます。
- ◆ 「視聴制限設定」画面が表示されます。



3 ▲・▼を押し、「視聴年齢制限設定」を選択し、 を押す。

4 ▲・▼を押し、制限をかける年齢を選択し、 を押す。

- ◆ 制限のための年代は「4才」～「19才」と「無制限」です。（既定値設定は、「4才」です）
- ◆ 制限を超える番組は、番組表上に「.....」として表示されます。

暗証番号の変更

1  を押し、「機器設定」⇒「視聴制限設定」を選択し、 を押す。

- ◆ 暗証番号入力画面が表示されます。

2  ～  で暗証番号を入力します。

3 ▲・▼を押し、「暗証番号設定」を選択し、 を押す。

4  ～  で新しい暗証番号を入力します。

5 手順4で設定したのと同じ暗証番号を、もう一度入力します。

暗証番号の削除

1  を押し、「メニュー」⇒「機器設定」
⇒「視聴制限設定」を選択し、 を押す。

- ◆ 暗証番号入力画面が表示されます。

2  ～  で暗証番号を入力します。

3 ▲・▼を押し、「暗証番号削除」を選択し、 を押す。

4 「はい」を選択し、 を押します。

- ◆ 視聴年齢制限が解除されます。

外部入力機器を設定

- 外部入力の様々な機能を設定することができます。

機器名の設定

- 機器名を変更することができます。(DVD、ブルーレイディスク等) 入力切り換え時に画面上に機器名が表示されます。

1  を押し、「機器設定」⇨「表示の設定」⇨「入力表示」を選択し、 を押す。

- ◆ 入力表示の選択画面が表示されます。

2 ▲・▼を押し、外部機器が接続される入力を選択し、 を押す。

3 ▲・▼を押し、それに応じたデバイス名を選択し、 を押す。

外部入力をスキップ

- 入力切り換え時に未接続の外部入力を省略することができます。

1  を押し、「機器設定」⇨「表示の設定」⇨「入力表示」を選択し、 を押す。

- ◆ 入力表示の選択画面が表示されます。

2 ▲・▼を押し、接続されていない入力機器を選択し、 を押す。

3 ▲・▼を押し、「使用しない(スキップ)」を選択し、 を押す。

- ◆  を押したときにスキップされた入力は表示されません。

HDMI 音声入力の設定

- HDMI に DVI 機器を接続した場合、音声入力を設定することができます。

1  を押し、HDMI 入力を選んで、 を押す。

2  を押し、「音声設定」⇨「HDMI 音声入力設定」を選択し、 を押す。

3 ▲・▼を押し、DVI 機器が接続された HDMI を選択し、 を押す。

4 ▲・▼を押し、「アナログ」を選択し、 を押す。

- ◆ 接続された機器が HDMI の時には「デジタル」を選択して下さい。

HDMI モードの設定

- 本設定は、接続している HDMI ソース機器が最新 HDMI2.0 準拠であれば、既定値である「モード1」とします。もし古いソース機器を接続の場合、または 4K 映像が正常に再生出来ない場合には「モード2」へ設定変更します。これは HDMI ポート単位にて設定可能です。

1  を押し、HDMI 入力を選んで、 を押す。

2  を押し、「機器設定」⇨「HDMI モード」を選択し、 を押す。

3 ▲・▼を押し、外部機器が接続された HDMI を選択し、 を押す。

4 ▲・▼を押し、「モード1」「モード2」を選択し、 を押す。

- ◆ 接続した HDMI ソース機器から 4K 映像を再生した場合には、「モード1」を選択します。この時の映像出力は 4K@60Hz 準拠です。もし、「モード1」設定にて映像が再生できない場合には、「モード2」へ設定変更してみてください。

デジタル音声出力の設定

- 接続した外部音声機器に合わせて、光デジタルオーディオ出力 (SPDIF) から出力される音声信号を設定することができます。

- 外部機器との音声信号互換性の詳細については、別売の外部機器の取扱説明書を参照してください。

1  を押し、「テレビ」を選択し、 を押す。

2  を押し、「音声設定」⇨「デジタル音声出力」を選択し、 を押す。

3 ▲・▼を押し、「自動」「PCM」「ビットストリーム」を選択し、 を押す。

- ◆ 「自動」: 放送の音声信号に合わせて、リニア PCM 信号またはビットストリーム信号が接続された外部音声機器へ出力されます。

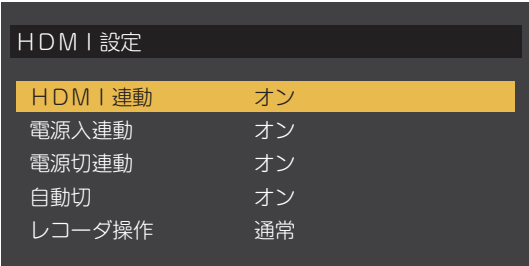
- ◆ 「PCM」: 常にリニア PCM 信号が出力されます。外部音声機器がリニア PCM 信号のみに対応している場合は、この設定を選択します。

- ◆ 「ビットストリーム」: 常にビットストリーム信号を出力します。外部音声機器がサラウンド音声信号 (例えば、MPEG-2 AAC) と互換性がある場合は、この設定を選択します。

HDMI リンク機能

- HDMI リンク（CEC）機能を使用すると、テレビのリモコンで CEC 機器を操作することができます。
- 接続機器の設定は、HDMI リンク（CEC）機能を使用するためにも必要です。詳細については、接続機器の取扱説明書を参照してください。

1 を押し、「機器設定」⇒「HDMI 設定」を選択し、 を押す。



- ◆ オプションの「電源入連動」、「電源切連動」、「自動切」、「レコーダ操作」は、「HDMI 連動」が「オン」場合にのみ利用可能です。

2 を押し、設定したい項目を選択し、 を押す。

3 以下の操作を参照して、お好みによって各項目を設定します。

- ◆ 他の項目を調整する場合、ステップ 2 からを繰り返します。

HDMI 連動を有効にする

- このテレビで HDMI リンク機能を有効にするには、次の手順を実行します。
 - ① を押し、「オン」を選択し、 を押す。◆ HDMI リンク機能を無効にするには、「オフ」を選択します。

電源入連動を設定する

- CEC 機器（例えば DVD）のリモコンを使用して電源を入れた場合、本設定はテレビを自動電源オンにします。機能を有効にするには、次の手順を実行します。
 - ① を押し、「オン」を選択し、 を押す。◆ 電源入連動を無効にするには、「オフ」を選択します。

ソース機器からワンタッチプレイ操作する場合のご注意

- miniB-CAS カードを未装着のままで、テレビ本体へアンテナを接続しないままで、HDMI リンク機能により接続した BD プレイヤーや DVD などからワンタッチプレイ操作を開始してもテレビ電源が自動オンされない場合があります。
- この様な場合には、35 ページを参照して高速起動を使用してください。

電源切連動を設定する

- テレビのリモコンによりテレビ電源をオフにした場合、全ての CEC 機器を自動的にスタンバイモードへ移行させます。機能を有効にするには、次の手順を実行します。
 - ※ レコーダの状態（例えば、録画中）によっては、レコーダは自動的にスタンバイモードに行くことはありません。
 - ① を押し、「オン」を選択し、 を押す。◆ 電源切連動を無効にするには、「オフ」を選択します。

自動切を設定する

- 自動切の機能は、新しい入力へ切り換えると、未使用となる個別の CEC 機器（例えば、レコーダ）を自動的にスタンバイモードにします。機能を有効にするには、次の手順を実行します。
 - ① を押し、「オン」を選択し、 を押す。◆ 自動切の機能を無効にするには、「オフ」を選択します。

レコーダ操作を設定する

- レコーダ操作機能は、レコーダが入力ソースである時にテレビのリモコンへ CEC レコーダの機能ボタンを追加することができます。機能を有効にするには、次の手順を実行します。
 - ① を押し、「拡大」を選択し、 を押す。◆ レコーダの操作のために通常ボタンのみを使用するには、「通常」を選択してください。

レコーダ操作の「通常」と「拡大」で有効なボタン

- 有効ボタンは以下のとおりです。

「レコーダ操作」	「有効ボタン」
「通常」	方向ボタン
	決定
	戻る
	色ボタン
	巻戻し、再生、一時停止、前進、停止、後退
	機能 (Submenu)
「拡大」	「通常」ボタンを有効
	チャンネル＋／－
	数字入力ボタン
	d データボタン
	番組表 音声切換

HDMI リンク機能 つづき

CEC 機器の操作

- テレビのリモコンで CEC 機器（レコーダ、デジタルビデオカメラ、プレーヤーなど）を操作するには、次の手順を実行します。

1 HDMI に CEC 機器を接続します。

2 CEC 機器の電源をオンにします。

- ◆ 「電源入連動」を「オン」に設定して、テレビでも電源を自動オンにするように設定しておきます。

3  を押し、接続した機器へ入力ソースを切り換えます。

- ◆ 接続した機器の画面が表示されます。
- ◆ CEC 機器を操作している途中で一時的にも放送へ切り換えても、「HDMI 機器選択」により機器を選択して操作を再開することができます。（以下に示します。）

CEC 機器への切り換え

- 簡単に他の入力ソースの CEC 機器に切り換えることができます。
- ①  を押します。
 - ② 「HDMI 機器設定」⇒「HDMI 機器選択」を選択し、 を押す。
 - ③ ▲・▼を押し、接続された CEC 機器を選択し、 を押す。

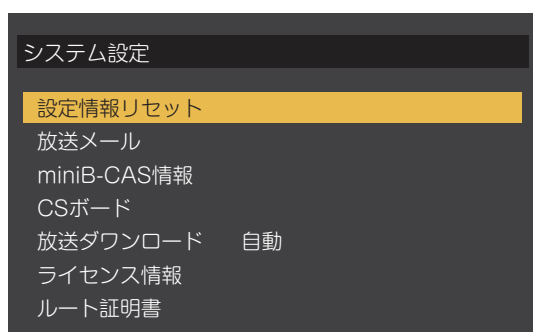
音声出力方法を設定する

- テレビのスピーカーから音声出力音声するか、または HDMI リンク機能を使用して、外部機器へ出力するかどうかを選択することができます。
- ①  を押します。
 - ② 「HDMI 機器設定」⇒「スピーカー選択」を選択し、 を押す。
 - ③ ▲・▼を押し、「TV」または「外部」を選択し、 を押す。

設定を初期化する

- 工場出荷時の既定値にすべての設定を復元することができます。（すべての設定を初期化する）
- ※ 他人へテレビを引き渡すか、テレビを処分したい場合にのみ初期化を実行してください。
- ※ 初期化時には、テレビに記録されたすべての個人情報が消去されます。（データ放送を介して取得したメールやポイントなどです）
- ※ 記録 / 再生に使用する USB ハードディスクの登録情報も消去されます。 USB ハードディスクに記録された録画コンテンツを無効にします。
- ※ 「視聴年齢制限設定」での暗証番号は消去されません。「視聴制限設定」で「暗証番号削除」により消去してください。
- ※ この操作では、テレビの双方向データ放送を通じて放送局に登録された情報を消去できません。各サービスを介してそれらを消去してください。（会員登録等を個別に取り消ししてください。）

1  を押し、「機器設定」 ⇨ 「システム設定」を選択し、 を押す。



3 「はい」を選択し、 を押す。

- ◆ 画面上の指示に従って操作してください。
- ◆ 画面がブランクになりますが、「かんたん設置設定」画面が表示されるまで、テレビの電源を切らないでください。テレビ本体に問題を引き起こすことになりません。
- ◆ 初期化をキャンセルするには、「いいえ」または  を押してください。

4 テレビ本体の電源ボタンを押して、テレビの電源をオフにします。

2 「設定情報リセット」を選択し、 を押す。

- ◆ 確認ダイアログボックスが表示されます。

設定メニュー一覧

- 以下は、メニュー一覧を示しています。
- 使用可能なメニューは、お使いの設定と接続機器の数に応じて異なる場合があります。選択できないメニューは、メニュー画面上では薄く表示されます。

設定メニュー

映像設定

画質動作選択
バックライト
コントラスト
黒レベル調整
色の濃淡
色あい
輪郭強調
色温度
動的コントラスト
ノイズ低減
MPEGノイズ低減
高度な設定
詳細調整
黒伸長
ホワイトバランス
ガンマ設定
調整の初期化
シネマ設定
画面の設定
画面サイズ切替
オーバースキャン
両横ノイズカット
垂直位置/大きさ
4:3映像設定
調整の初期化

音声設定

音声調整
低音
高音
イコライザー
バランス
サラウンド
ヘッドホーン音量
音量自動調整
入力音量補正
デジタル音声出力
HDMI音声入力設定
音声同時出力
調整の初期化

通信設定

ネットワーク接続
ネットワーク状態
再接続確認
詳細情報

タイマー設定

日時指定予約
オンタイマー
無操作電源オフ
無信号電源オフ

機器設定

USB機器管理

録画設定

自動予約
録画ボタン設定
オートチャプター
USB HDD待機

視聴制限設定

表示の設定

字幕の設定
入力表示
タイトル表示
時計表示

HDMI設定

HDMI 連動
電源入連動
電源切連動
自動切
レコーダ操作

HDMIモード

HDMI 1
HDMI 2
HDMI 3

かんたん設定

画質設定
郵便番号
県域設定
miniB-CAS カードテスト
地上デジタルチャンネル設定
衛星アンテナ設定

設置設定

受信対象設定
チャンネル設定
地域設定
受信設定
高速起動
B-CAS テスト

システム設定

設定情報リセット
放送メール
B-CAS 情報
CSボード
放送ダウンロード
ライセンス情報
ルート証明書

その他の設定

文字入力設定
選局対象

機器情報

ID 表示

以下の場合には故障ではありません

天候、気象条件により衛星BS・110度CSデジタル放送の受信障害

- 雨や雪の影響で電波が弱いとき、映像にノイズが入ったり、映像が見られない原因となります。
- 天候が良くなると、映像が通常に戻ります。

大雨



大雪







信号を受信できません。
(E202)

問題と対処法

- 本機が正常に動作しないなどの症状がある場合、以下の説明から対処法を見つけてください。
- 症状が改善しない場合、電源プラグを抜いてからお近くの販売店に相談してください。
- 「ページ」は関連する問題が記載されているページを指しています。

本機が動作を停止した場合、本機をリセットします

- 本機やリモコンのボタンで操作できなくなった場合、以下を実行してみてください。

電源プラグを抜き差しします
① 電源コンセントから電源コードを抜きます。 ② 少なくとも 1 分間お待ちください。 ③ 電源コードを差して、本機の電源をオンにします。

操作関連の問題

- 本機の電源がオンにならない

確認すること	対処法・その他	ページ
電源プラグが抜けていませんか？	① 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。 ② 本機の電源ボタンを押してオンにします。	

- リモコンが動作しない

確認すること	対処法・その他	ページ
・ リモコンとテレビの「リモコン受光部」の間に障害物などはありませんか？	・ 障害物を取り除きます。 ・ リモコンの有効範囲は 22 ページを参照してください。	
・ リモコンの電池が切れていませんか？	・ 新しい電池に交換してください。	

問題と対処法 つづき

・電池が誤った極方向に挿入されていませんか？	・電池を正しい方向へ挿入してください。	
------------------------	---------------------	---

映像関連の問題

- 映像が乱れる場合、見られない場合

確認すること	対処法・その他	ページ
・アンテナケーブルが緩んでいませんか？接触面が劣化していませんか？	・アンテナを正しく接続してください。 ※ 屋外のアンテナ接続については、お近くの販売店にお問い合わせください。	
・アンテナケーブルが破損していませんか？	・アンテナケーブルを交換してください。	—
・アンテナケーブルが録画機を通して接続されている場合	・録画機が適切に機能しているか確認してください。 ・アンテナ線を分配して接続してください。	—
・電波が弱くなっていませんか？	・アンテナ信号強度を確認してください。 ・お近くの販売店に問い合わせ、アンテナの方向を調整してください。	
・アンテナの端子がさびていませんか？	・お近くの販売店にお問い合わせください。	—

- 接続した機器の映像が出ない場合

確認すること	対処法・その他	ページ
・外部入力機器が本機へ適切に接続されていませんか。	・外部入力機器を適切に接続してください。	
・外部入力機器の電源がオフになっていませんか？	・外部入力機器の電源をオンにしてください。	—
・接続されている外部入力機器の入力ソースが選択されていません。	・リモコンを使用して入力を接続されている外部入力機器の入力ソースへ切り替えます。	

- 映像の色や明るさに異常がある場合

確認すること	対処法・その他	ページ
・映像設定がお正しい状態に設定されていない可能性があります。	・視聴しているビデオや番組に合わせて映像設定を設定できます。	

音声関連の問題

- 音が出ない

確認すること	対処法・その他	ページ
・音量が最小に調整されていませんか？	 を押して音量を調整します。	

・ 消音マークが画面に表示されませんか？	・  または  を押して音量を戻します。	
----------------------	--	---

地上波デジタル放送

- 放送またはビデオの映像がみだれいる

確認すること	対処法・その他	ページ
・ アンテナ信号強度が弱くなっていませんか？	・ アンテナを調整して信号強度を改善してください。 ※ アンテナの方向を調整するには、お近くの販売店に問い合わせください。	
・ 初期スキャンを実行しましたか？	・ 初期スキャンを実行してください。	
・ お住まいの地域へデジタル地上波信号が届いていない可能性があります。	・ 一般社団法人放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) のホームページ(www.apab.or.jp)で確認できます。	—

- 引っ越し後に放送が映らない

確認すること	対処法・その他	ページ
・ 引っ越し後に初期スキャンを実施していますか？	・ 初期スキャンを実行してください。	

BS・110度CS デジタル放送

- 放送またはビデオの映像がみだれいる

確認すること	対処法・その他	ページ
・ 通電型アンテナ分配器を使用していますか？	・ 「全端子通電型」分配器を使用してください。	
・ 有料の放送を契約していませんか？	・ 有料の放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申込みや視聴料金などについては各放送局へ相談してください。	—
・ 集合住宅の共用アンテナ用壁のアンテナ端子は1つしかありません。	・ 放送タイプについては集合住宅の管理人に相談します。	

番組表関連の問題

- 番組表に表示されるコンテンツがない

確認すること	対処法・その他	ページ
—	・ 3つのネットワーク間で切り替えると、番組表画面を表示するのに少し時間がかかることがあります。番組表が更新されるまで数分間お待ちください。	—

問題と対処法 つづき

録画および再生

- USB ハードディスクが使用できない (認識されない)

確認すること	対処法・その他	ページ
・ USB ハードディスクが本機へ適切に接続されていますか？	・ 21 ページを参照して USB ハードディスクを正しく接続してください。	
・ USB ハードディスクの電源がオンになっていますか？	・ USB ハードディスクの電源をオンにしてください。 ※ 専用電源がある USB ハードディスクを使用します (A/C アダプターを使用してください)。	—

- 番組が録画できない

確認すること	対処法・その他	ページ
・ USB ハードディスクに十分な空き容量がありますか？	・ 残りの容量を確認してください。 ・ 不要な番組を削除してください。	
・ 録画が禁止されている番組を録画しようとしています。	・ この番組は録画できません。	—
・ データ放送、ラジオ放送、または外部機器からの映像を録画しようとしていませんか？	・ 左に表示されている番組は録画できません。	—

- 録画した番組が途中で消えている

確認すること	対処法・その他	ページ
・ 録画中に USB ハードディスクが電源プラグを抜いていませんか？	・ 録画中は電源プラグを抜くことはできません。 ※ 録画中に切断すると、データ喪失の原因となります。	—

- 番組が本機で再生されない

確認すること	対処法・その他	ページ
・ その他のテレビで番組を再生していませんか？	・ USB ハードディスクへ録画された番組は本機でのみ再生できます (同一の型名のテレビであっても再生できません)。	—

困ったときは

エラーメッセージ

一般的なエラーメッセージ

メッセージ	原因	対処法	ページ
「降雨対応放送に切り換わりました。(E201)」	気象条件などにより信号レベルが低下し、降雨対応放送（低解像映像）切換えが可能な状態となった。	降雨対応放送へ自動的に切り換えられます。気象条件などの回復により信号レベルが上昇すると、通常の放送（高解像）へ自動復帰します。	—
「受信できません。アンテナの設定や調整を確認してください。(E202)」	- アンテナがこの放送に対応していない可能性があります。 - アンテナケーブルが緩んでいるか、抜けています。 - アンテナの方向が良くありません。アンテナの方向が悪いと信号強度が低下します。 - アンテナの電源が BS・110 度 CS デジタル用アンテナへ供給されていない可能性があります。 雷、雨、雪などの悪天候により一時的に受信できないことがあります。	- 接続されているアンテナがデジタル放送用であるか確認してください。 - アンテナおよびアンテナケーブルの接続と状態を確認してください。(お近くの販売店に相談してください。) - BS・110 度 CS デジタル放送に電源を供給します。	
「現在、このチャンネルは放送を休止しています。(E203)」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送を終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	—
「このボタンにチャンネルは設定されていません。(E204)」	プリセット設定がないリモコンの番号が入力されている可能性があります。	好みのチャンネルをボタンに割り当てます。	

miniB-CAS カード関連エラーメッセージ

メッセージ	原因	対処法	ページ
「B-CAS カードを正しく挿入してください。挿入していても、このメッセージが表示される場合は、一旦電源を切り、カードを抜いて裏側の端子部分の汚れをふき取ってから挿入し直してください。それでも直らない場合は電源コードの抜き差しをしてください。」	- miniB-CAS カードが挿入されていないか、カード挿入方向が間違っている。 - miniB-CAS カード上の IC チップの金属面が汚れている。	- miniB-CAS カードを正しい方向で挿入する。 - IC チップの金属面を乾いた布で、そっとクリーニングする。	

エラーメッセージ つづき

USB ハードディスク関連エラーメッセージ

メッセージ	原因	対処法	ページ
「録画・再生用のHDDがありません。」	リモコン上の録画ボタンを押した時に、USB ハードディスクが接続されていないか、USB ハードディスク自身の電源がオンされていない。	録画ボタンを押す前に、登録していた USB ハードディスクを接続します。	
「接続されていたUSB HDDを認識できません。」	テレビへ接続した USB ハードディスクに互換性の無い可能性があります。	別添資料から互換性の確認済み USB ハードディスクかを確認します。	—
「HDDがいっぱいのため、録画できません。」	USB ハードディスクの容量が不足している。	不要な番組を削除します。	—
「USB 端子の電源容量を超えました。接続機器を外して、本体の電源をオフ、オンしてください。」	接続した USB ハードディスクの電源電力容量が、テレビの供給能力を超えてしまった。	① テレビの電源ボタンを押して、電源オフする。 ② テレビから接続している USB ハードディスクのケーブルを引き抜きます。 ③ テレビ・電源ケーブルをコンセントから抜き、約 10 秒後に差し込みます。 ④ テレビの電源をオンします。 ⑤ USB ハードディスクをテレビへ接続します。 ※ 万一同じ症状が検出される場合には、その USB ハードディスクはご利用になれません。	—
「録画中は操作できません。」	USB ハードディスクが番組録画中である。	- 現在の録画を停止する。 - 現在の録画が完了するのを待ちます。	—
「デジタル放送のテレビサービス以外は、録画できません。」	- 外部接続した HDMI 機器または再生装置からのコンテンツを視聴中に録画ボタンを押した。 - デジタル放送視聴中でも、映像無の独立データ放送で、録画ボタンを押した。	- 入力切換えボタンによりテレビへ切り換える。 - 通常のテレビサービス（映像あり）しているチャンネルへ切り換える。	—

ネットワーク関連エラーメッセージ

メッセージ	原因	対処法	ページ
「家庭内ネットワークへの接続に失敗しました。ケーブルの接続、ネットワーク設定を確認してください。」	- ルーターと通信ができない。 - IP アドレスが間違えて設定されている。 - DNS アドレスが間違えて設定されている。	- ルーターまたはネットワークのケーブル接続を確認します。 - IP アドレスを正しく設定します。 - DNS アドレスを正しく設定します。	 
「不正な値です。再度入力してください。」	設定入力した IP アドレスや DNS アドレスが正しくない。	IP アドレスおよび DNS アドレスが正しく設定されているかを確認します。	

ソフトウェアを更新する

- 本機のソフトウェアは、デジタル放送の電波を介して最新バージョンにアップデートすることができます。
- 新しいアップデート情報のダウンロードの仕方を選択ください。

1  を押し、「機器設定」⇨「システム設定」⇨「放送ダウンロード」を選択し、 を押す。

2 ▲・▼ を押し、「自動」または「手動」を選択し、 を押す。

- 「自動」：リモコンで電源が「待機」になっているときに、情報が届いた場合、自動でダウンロードを実行します。通常はこの設定にしておきます。
 - 「手動」：情報が届いた場合、放送メールでお知らせします。
- ※ 各種予約実行とソフトウェアの更新処理が衝突した場合、各種予約実行が優先します。従って、ソフトウェア更新時刻には、各種予約を取り消される事を推奨します。

いろいろな情報を見る

放送メールを見る

- ◆ 放送メールには、放送局からのお知らせやダウンロードの情報などがあります。

1  を押し、「機器設定」⇒「システム設定」⇒「放送メール」を選択し、 を押す。

- ◆ メール表示画面が表示されます。

2 ▲・▼を押し、メールを選択します。

- ◆ 選択したメールの内容は画面下に表示されます。
- ◆ 「未読」メールと「既読」メールがあります。
- ◆ メールを開くとアイコンが「既読」に変わります。
- ◆ メールを削除したい場合は、削除したいメールを選び、 を押します。

miniB-CAS カードの情報を見る

1  を押し、「機器設定」⇒「システム設定」⇒「B-CAS 情報」を選択し、 を押す。

- ◆ miniB-CAS カードの情報が表示されます。

2 元の画面に戻るには、 を押す。

CS ボードを見る

1  を押し、「機器設定」⇒「システム設定」⇒「CS ボード」を選択し、 を押す。

2 ▲・▼を押し、「CS ボード 1」または「CS ボード 2」を選択し、 を押す。

- ◆ 110 度 CS デジタル放送の情報がディスプレイに表示されます。

3 元の画面に戻るには、 を押す。

ソフトウェア情報を見る

1  を押し、「機器設定」⇒「システム設定」⇒「ライセンス情報」⇒「ソフト情報表示」を選択し、 を押す。

- ◆ ソフトウェアライセンス情報がディスプレイに表示されます。

2 元の画面に戻るには、 を押す。

テレビ ID を見る

1  を押し、「機器情報」⇒「ID 表示」を選択し、 を押す。

- ◆ ID が表示されます。
- ◆ デコーダー ID とバージョンが確認できます。

2 元の画面に戻るには、 を押す。

USB ハードディスクの情報を見る

1  を押し、「機器設定」⇒「USB 機器管理」を選択し、 を押す。

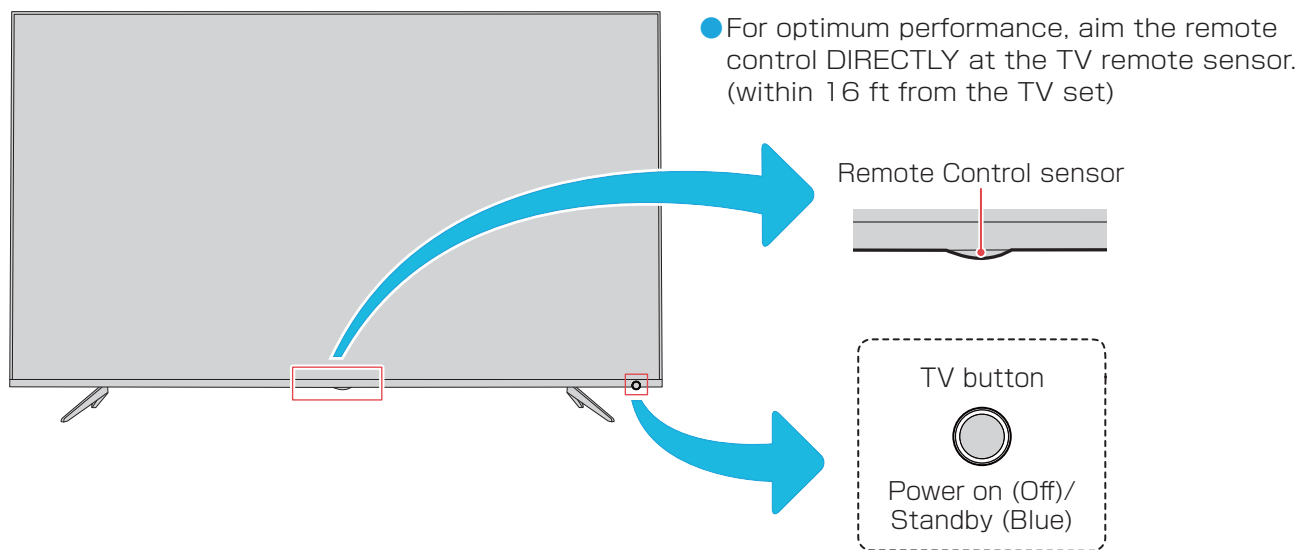
- ◆ USB ハードディスクの情報がディスプレイに表示されます。

2 ▲・▼を押し、USB ハードディスクを選択します。

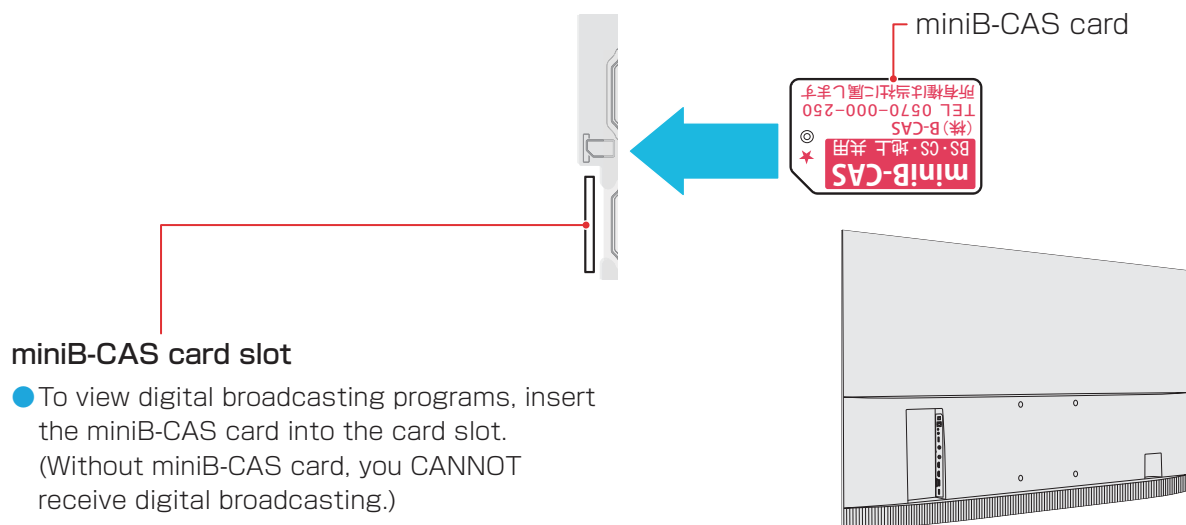
3  を押すと、機器詳細情報が表示されます。

Simple English Guide

[TV Front Panel]



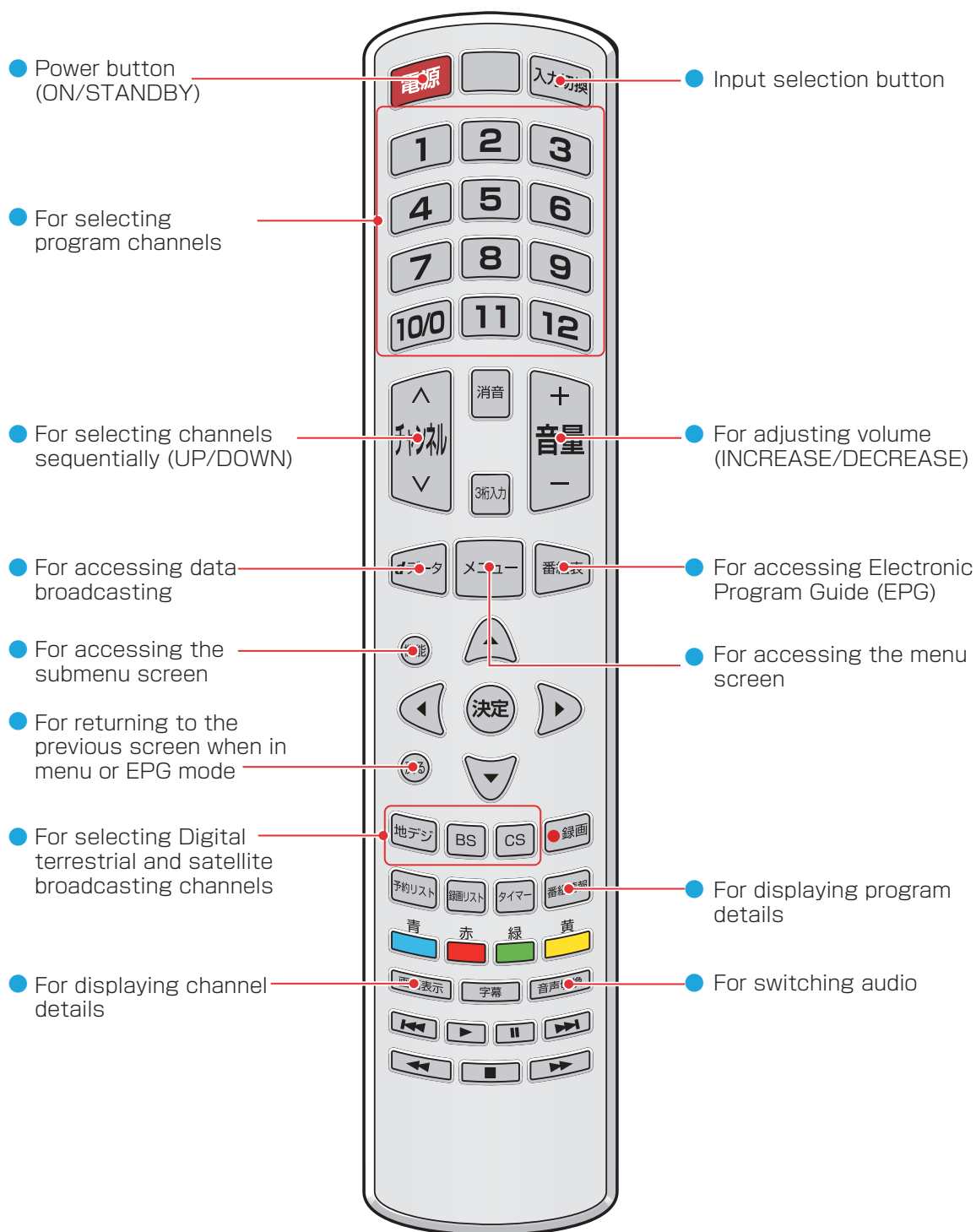
[TV Side Panel]



- For more information on operations, safety instructions, maintenance, etc., please contact your local dealer.

Simple English Guide continued

[Remote control]



本機で対応する HDMI 入力信号フォーマット

- 「VESA 規格」の列で「○」と表示されている信号フォーマットは、VESA 規格に準拠している信号フォーマットにのみ対応しています。映像が表示されない場合、フォーマット判定を修正できます。お使いのコンピューターまたは映像機器の周波数および解像度を変更して、以下の表に表示される入力信号のいずれかに合わせてください。
- コンピューターに接続している場合、60Hz のリフレッシュレートへ設定してください。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート または垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA 規格
480i	720 × 480	59.94/60Hz	15.734/15.750kHz	27.000/27.027MHz	
480p	720 × 480	59.94/60Hz	31.469/31.500kHz	27.000/27.027MHz	
1080i	1920 x 1080	59.94/60Hz	33.716/33.750kHz	74.176/74.250MHz	
720p	1280 x 720	59.94/60Hz	44.955/45.000kHz	74.176/74.250MHz	
1080p	1920 x 1080	59.94/60Hz	67.433/67.500kHz	148.352/148.500MHz	
		23.98/24Hz	26.973/27.000kHz	74.176/74.250MHz	
		29.97/30Hz	33.716/33.750kHz	74.176/74.250MHz	
2160p	3840 x 2160	59.94/60Hz	134.865/135.000kHz	593.407/594.000MHz	
		23.98/24Hz	53.946/54.000kHz	296.703/297.000MHz	
		29.97/30Hz	67.433/67.500kHz	296.703/297.000MHz	
2160p (SMPTE)	4096 × 2160	59.94/60Hz	134.865/135.000kHz	593.407/594.000MHz	
		23.98/24Hz	53.946/54.000kHz	296.703/297.000MHz	
		29.97/30Hz	67.433/67.500kHz	296.703/297.000MHz	
VGA	640 × 480	59.94/60Hz	31.469/31.500kHz	25.175/25.200MHz	○
SVGA	800 × 600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
XGA	1024 x 768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
WXGA	1280 x 768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
	1360 x 768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280 x 1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

製品仕様 ※ 1

画 面 サ イ ズ ※ 2		43V	50V	55V
色 域 (N T S C)		88%		
電 源 ※ 3		AC 100V 50/60Hz		
定 格 消 費 電 力		80W	105W	120W
待 機 時 消 費 電 力		0.3W	0.3W	0.3W
年 間 消 費 電 力 ※ 4		113kWh/year	147kWh/year	162kWh/year
区 分 名 ※ 5		DF1 (FHD、液晶ノーマル、付加機能 1)		
外形寸法 () 内 は 本体スタ ンド除く	幅	961 (961)mm	1113 (1113)mm	1228 (1228)mm
	高 さ	607 (558)mm	696 (643)mm	764 (710)mm
	奥 行	232 (73)mm	269 (73)mm	269 (75)mm
本体重量、()スタンド除く ※ 6		8.6 (8.4)kg	12.6 (12.4)kg	14.9 (14.7)kg
液 晶 画 面	画 面 寸 法	幅 941mm、高さ 529mm、対角 1080mm		
	画 素 数	3840 x 2160		
	応 答 時 間	8.0ms	8.0ms	6.5ms
	コ ン ト ラ ス ト 比	4000:1	4000:1	4500:1
	駆 動 方 式	VA パネル エッジ型 LED バックライト		
壁 掛 け 寸 法		縦 200 mm x 横 200 mm (VESA 規格) 壁掛け金具類は別途購入 (市販品)		
受 信 チ ャ ン ネ ル		地上デジタル VHF(1 ~ 12)、UHF(13 ~ 62)、CATV(C13 ~ C63)		
		衛星BSデジタル (右旋) BS 000 ~ 999		
		衛星 110 度 CS デジタル (右旋) CS 000 ~ 999		
内 蔵 チ ュ ー ナ ー		地上デジタル 2 系統、衛星デジタル 2 系統		
音 声 出 力		実効最大出力：8W + 8W (JEITA 規格)		
入 力 ・ 出 力 端 子		HDMI Ver 2.0a/1.4a 入力 (1 ~ 2) 2 個	HDMI Ver 2.0a/1.4a 入力 (1 ~ 3) 3 個	
		CEC 対応 (ポート 1 ~ 2 共通、 HDCP2.2 コンテンツ保護対応)	CEC 対応 (ポート 1 ~ 3 共通、HDCP2.2 コンテンツ保護対応)	
		ARC 出力 (ポート 1 固定)	ARC 出力 (ポート 3 固定)	
		AV ビデオ音声入力 1 個 サイドパネルのピンジャックへ AV 端子変換アダプターケーブル接続 映像：黄 (RCA ピンジャック)、音声：赤 / 白 (RCA ピンジャック)		
		USB 2.0 入出力端子 1 個 録画再生、写真再生、 受信機ソフトウェア更新	USB 入出力端子 2 個 USB 2.0 (ポート 1) 録画再生、写真再生、受信機ソフトウェア更新 USB 3.0 (ポート 2) 録画再生、写真再生	
		LAN 入出力端子 1 個 RJ-45、双方向通信サービス用、TLS1.2 サポート		
		ヘッドホン出力端子 1 個 口径 3.5mm ステレオミニジャック		
		光デジタル音声出力端子 1 個		
使 用 環 境 条 件		温度：5℃～ 35℃、相対湿度：20%～ 80% (結露無きこと)		
付 属 品		本書 12 ページをご参照ください		

各 種 サ ポ ー ト 機 能	受信機ソフトウェア他の自動更新	待機時ライブ放送受信による自動更新
	データ放送視聴（番組連動を含む）	双方向通信サービス、セキュア通信（TLS1.2 対応）
	音声 / 字幕の切換え	2カ国語切換え、各種音声モード切換え
	視聴年齢制限番組対応	パスワード設定による安心ロック対応
	チャンネル編成変更、 番組流動編成変更	更新対応（番組表、予約リストなど）
	動画・表示サイズ切換え	各種サイズへ手動切換え
	電子番組表（EPG）	7X6 時間ラテ欄、視聴・録画予約と予約表示 短時間番組ポップアップ表示、検索機能あり
	録画再生	裏録画対応、即時録画、繰り返し録画、イベントリレー 対応、チャプター再生、追いかけて再生、プレビュー再生
	HDMI 再生	CEC 対応、ARC（ホームシアター）対応 3 系統の HDMI 入力端子
	写真再生（USB 入力）	写真（はスライドショー対応）
	オンタイマー / オフタイマー	予約オンタイマーは系統選択に対応、各種自動電源オ フに対応
	現在時刻表示	メニュー選択により、画面左下にウィンドウ表示

※ 1：本仕様の内容は機能改定等により予告無く変更される場合があります。

※ 2：画面サイズ（43V など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 3：本製品は日本国内使用で設計されており、電源電圧、放送方式が異なる日本国外で、ご使用になれません。

※ 4：年間消費電力量は 1 日当たり 4.5 時間の操作時間および 19.5 時間のスタンバイ時間とした年間の電力使用量です。（スタンバイ時での番組表取得動作などを含めています）

※ 5：区分名とは、「エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）」にて、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に従った区分となっております。その区分名称をいいます。

※ 6：重量は目安であり、その時の温度・湿度により多少の誤差が生じます。

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改善のために事前の通知なしにて自動的に変更される場合があります。ご了承ください。
- 本製品の主要なプラスチック部品は、廃棄時のリサイクルに役立つよう原材料名を記号表示しています。
- 本製品の背面についている「⇒⇒▶」のマークは、同じ意味であり、「家電製品のプラスチック等部品の表示およびリサイクルマークのガイドライン」で定められたものです。これらのマークは、リサイクル時に取り外すネジの位置を表しています。
- ご自身による本製品の分解、改造または修理などは行わないでください。火災や感電の原因となります。
- 操作内容をより明確にする目的にて、本取扱説明書上の図表が実際の製品から省略をしたり、誇張をしたりしています。
- 長時間にわたり本製品を使用されない場合には、電力節約および安全上、主電源から本製品の電源コンセントを抜いてください。
- 本製品は「JIS C 61000-3-2」規格に適合しています。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限界値 - 高調波電流発生限度値（1 相あたりの入力電流が 20 A 以下の機器）」に従い、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造したものをいいます。
- LCD 画面は非常に精密な技術により製造されています。99.99% 以上の有効画素数があり、ごくわずかの無効画素（0.01% 未満）で光らなかったり、常時点灯する場合があります。これは故障ではありませんので、ご了承ください。
- 長時間にわたり静止画像が表示された後に、映像コンテンツが切り換わると、前の静止画像が残像として見えることがあります。この残像は、自然に回復し、正常な状態へ自動的に戻ります。故障ではありません。
- 本製品を使用して有料放送サービス等を国際法で定められた日本国以外の国外にて受信したりすることは、有料放送のサービス契約上、固く禁じられています。
- 本製品で 2018 年 12 月から開始予定の 4K デジタル放送を受信して視聴するには、別売の 4K 専用チューナー（市販品）および専用アンテナ工事が必要です。お買い上げ頂いた販売店または電気店にご相談下さいますようお願いいたします。